

情報セキュリティを確保するために

EY's Global Information Security Survey 2013



EY

Building a better
working world

はじめに

今年で16年目を迎えるEYのグローバル情報セキュリティグローバルサーベイ(GISS)は、この種の調査では最も長期にわたっており、お客様に情報セキュリティの問題による影響を他社と比較し、重要な意思決定を支援するものとしてお役に立てております。

本年度のサーベイは、2013年6月から8月の期間、全主要産業において、64カ国、1,909社(日本では272社)のお客様にご参加頂きました。



© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

EY's Global Information Security Survey 2013 | 1

EY

はじめに	1
調査結果概要	2
サーベイ参加者の属性	3
調査結果	
1. セキュリティ予算と投資	11
2. セキュリティガバナンス	23
3. 情報セキュリティの有効性	31
4. 情報セキュリティ環境	43
5. 先端技術とトレンド	55

Contents

調査結果概要



1. グローバルに比べて増えない情報セキュリティ予算
「1.セキュリティ予算と投資」では、グローバルと比較して日本は、前年対今年でも、今年対来年でも、情報セキュリティ予算総額を増加させる(又は、増加させた)とする回答の割合が少なくなっています。
2. 日本では現場レベルに権限
「2.セキュリティガバナンス」では、グローバルと比較して日本は、情報セキュリティ戦略と会社の業務戦略が一致しているとする回答の割合が少なくなっています。その一つの要因として、情報セキュリティに関する責任を担う部署が、日本では部門・事業部門レベルであるのに対して、グローバルではより上位の単位であるグループ規模であるためと考えられます。
3. 昨今必要なセキュリティ対策への認知に遅れ
「3.情報セキュリティの有効性」では、グローバルと比較して日本は、情報セキュリティ部門が会社の要件を満たしているという回答が多い反面、グローバルでは成熟しているセキュリティ対策の全てが、日本ではこれからの状況です。このことから、昨今必要とされているセキュリティ対策が日本ではあまり認知されていないことが窺えます。
4. 侵入テストによる検証が不足
「4.情報セキュリティ環境」では、グローバルと比較して日本は、インターネットと接続しているシステムへのテストを実施しているとする回答の割合が少なく、リスクへの対策が不足している様子が窺えます。
5. スマートフォンやタブレットへのセキュリティ対応に遅れ
「5.先端技術とトレンド」では、グローバル・日本ともにスマートフォンやタブレットのセキュリティが最も注目されている一方、グローバルと比較して日本は、先端技術とその影響を専門に扱う担当または部署があると回答、今後整備する予定とする回答がともに少なく、先端技術への対応が不足していることが窺えます。

© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

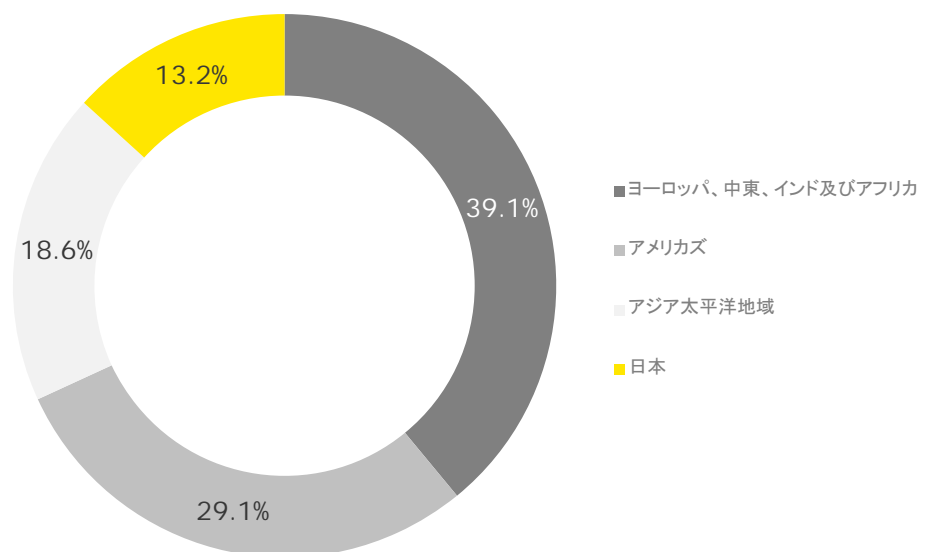
EY's Global Information Security Survey 2013 | 2

EY

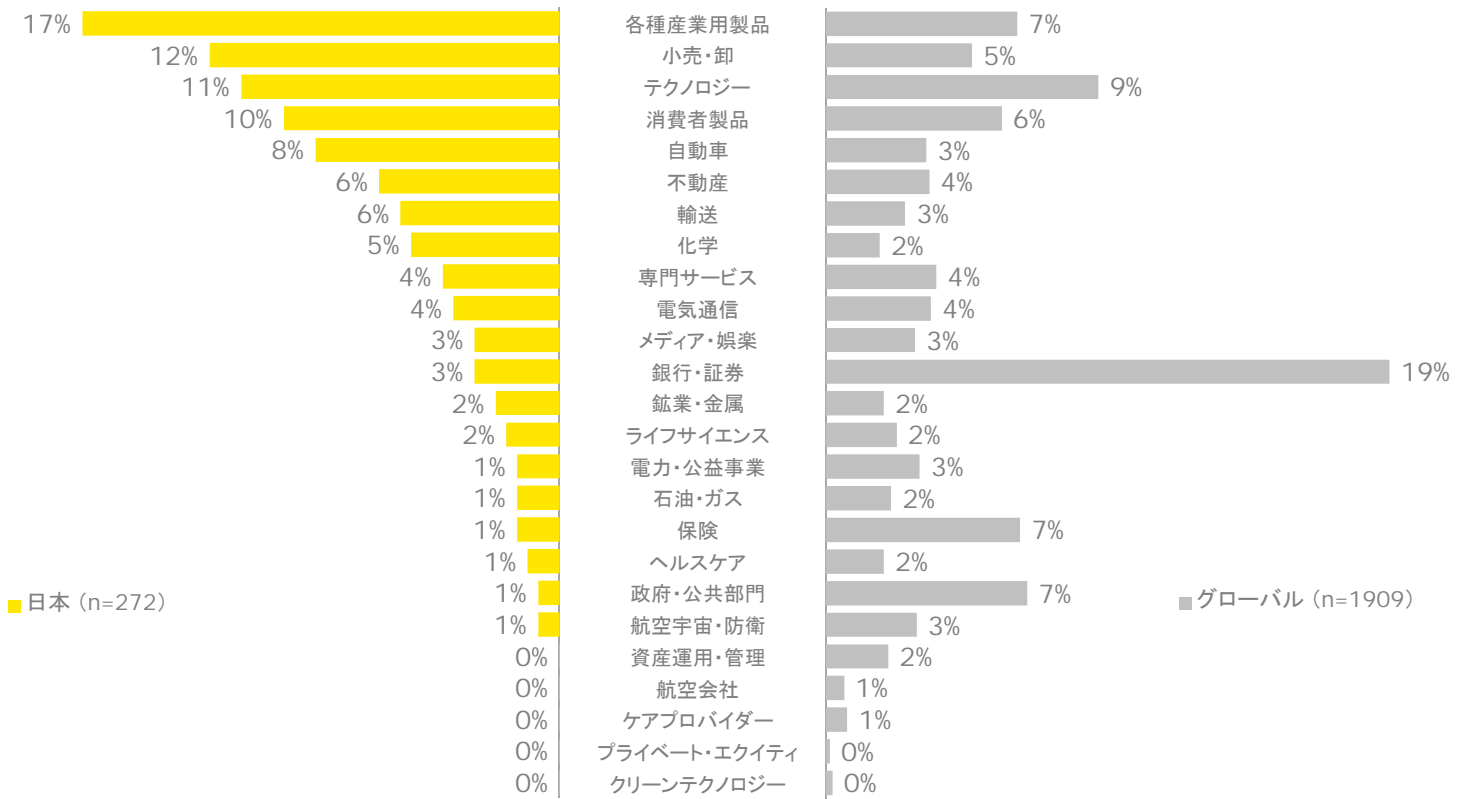


サーベイ参加者の属性

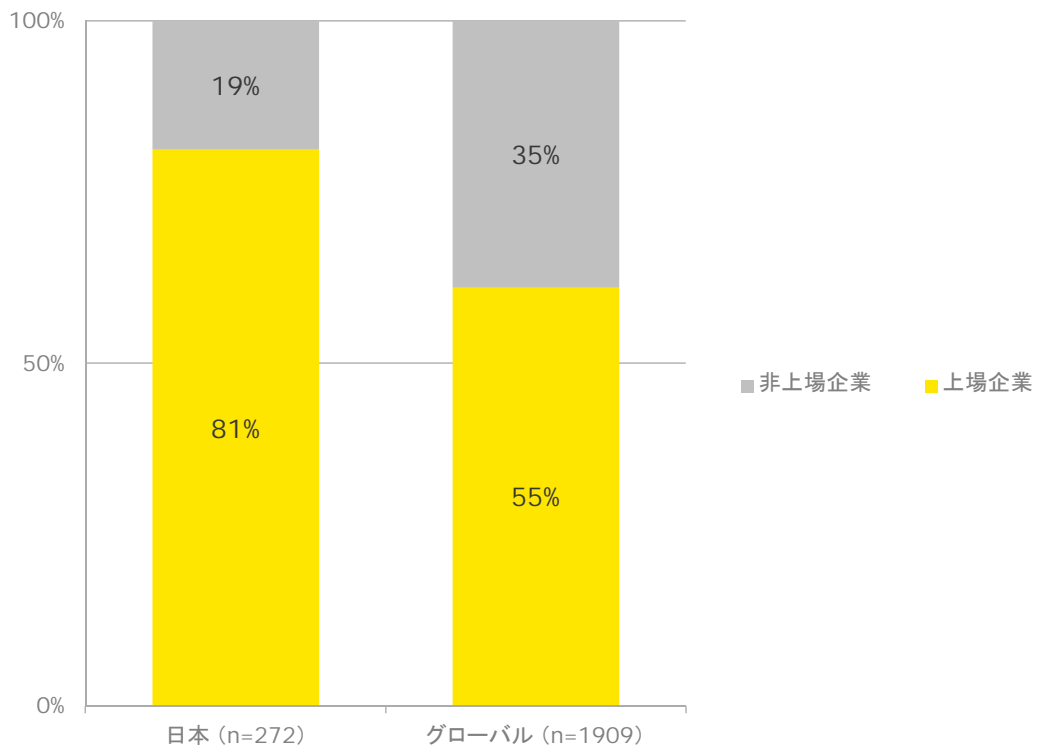
サーベイ回答企業の情報 地域別内訳 (n = 1909)



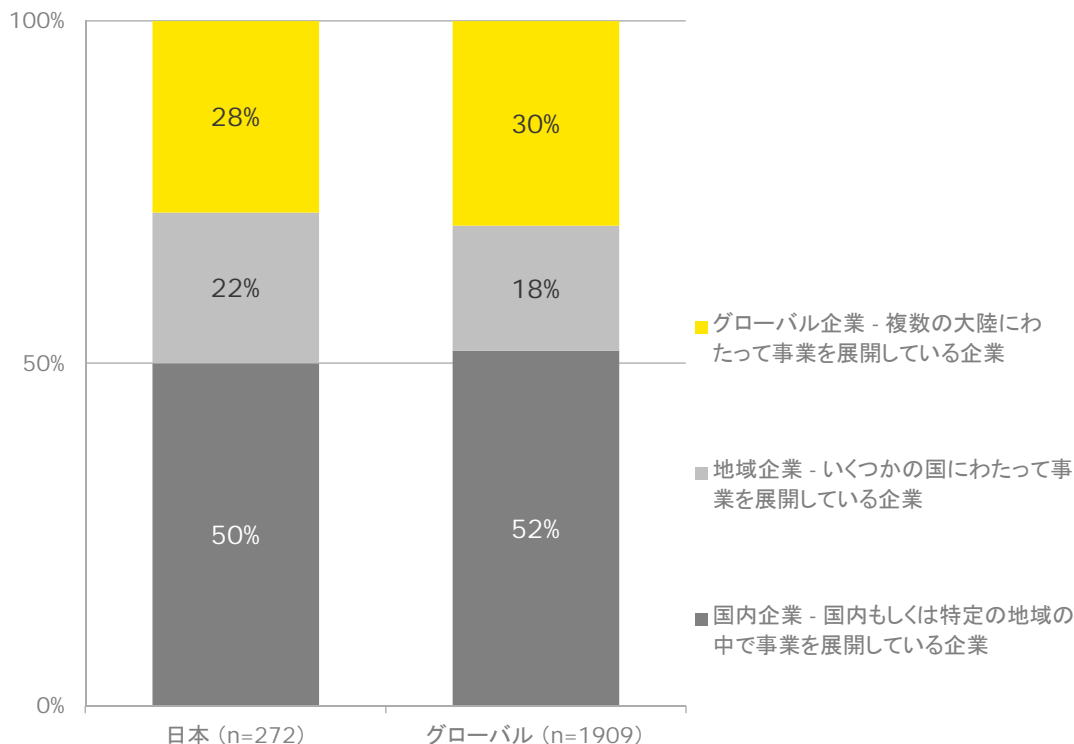
サーベイ回答企業の情報 産業別内訳



サーベイ回答企業の情報 事業形態別内訳



サーベイ回答企業の情報 事業形態別内訳

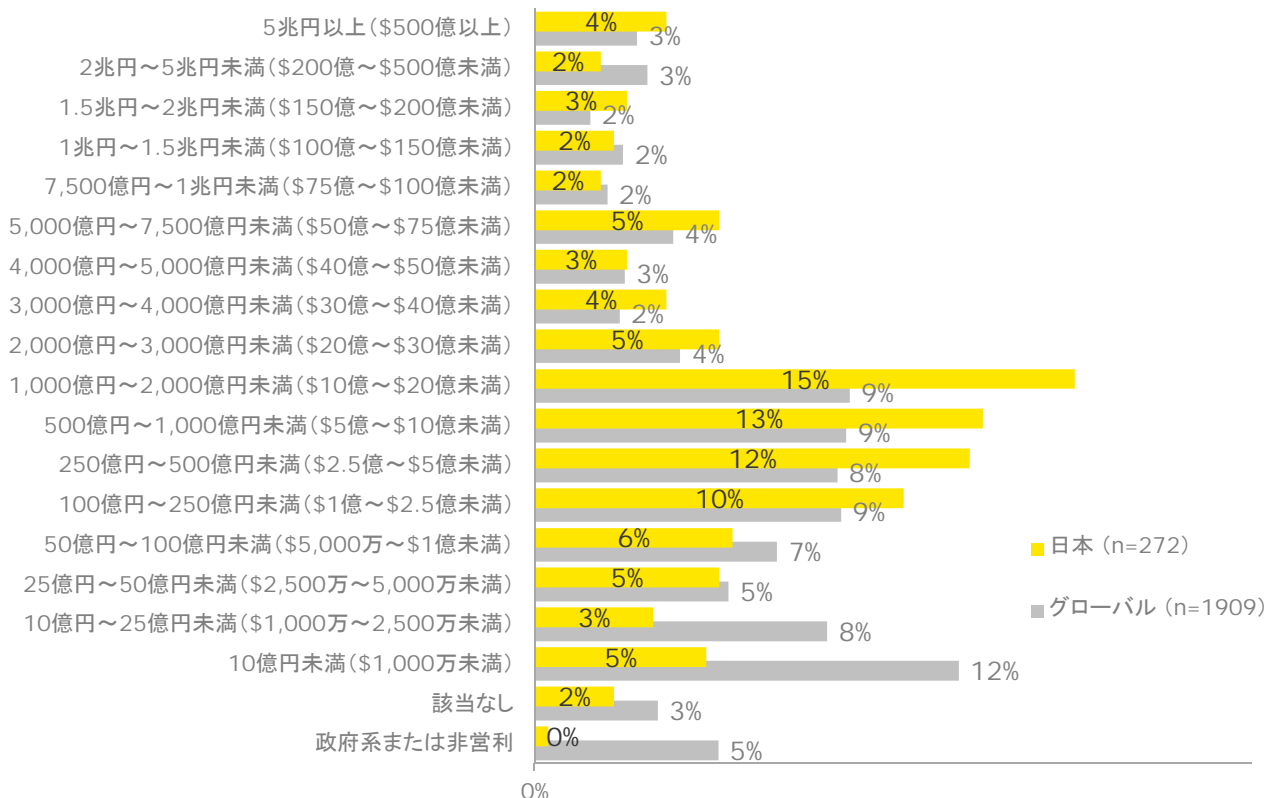


© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

EY's Global Information Security Survey 2013 | 7



サーベイ回答企業の情報 年間収益(売上)別内訳

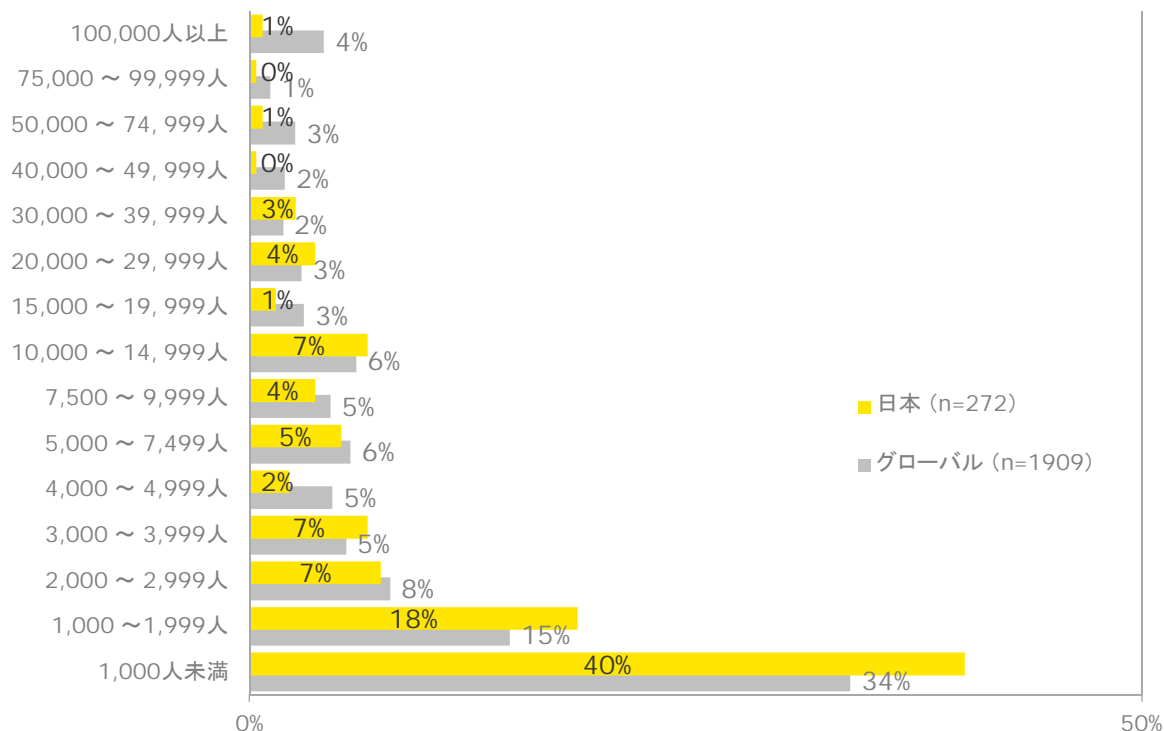


© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

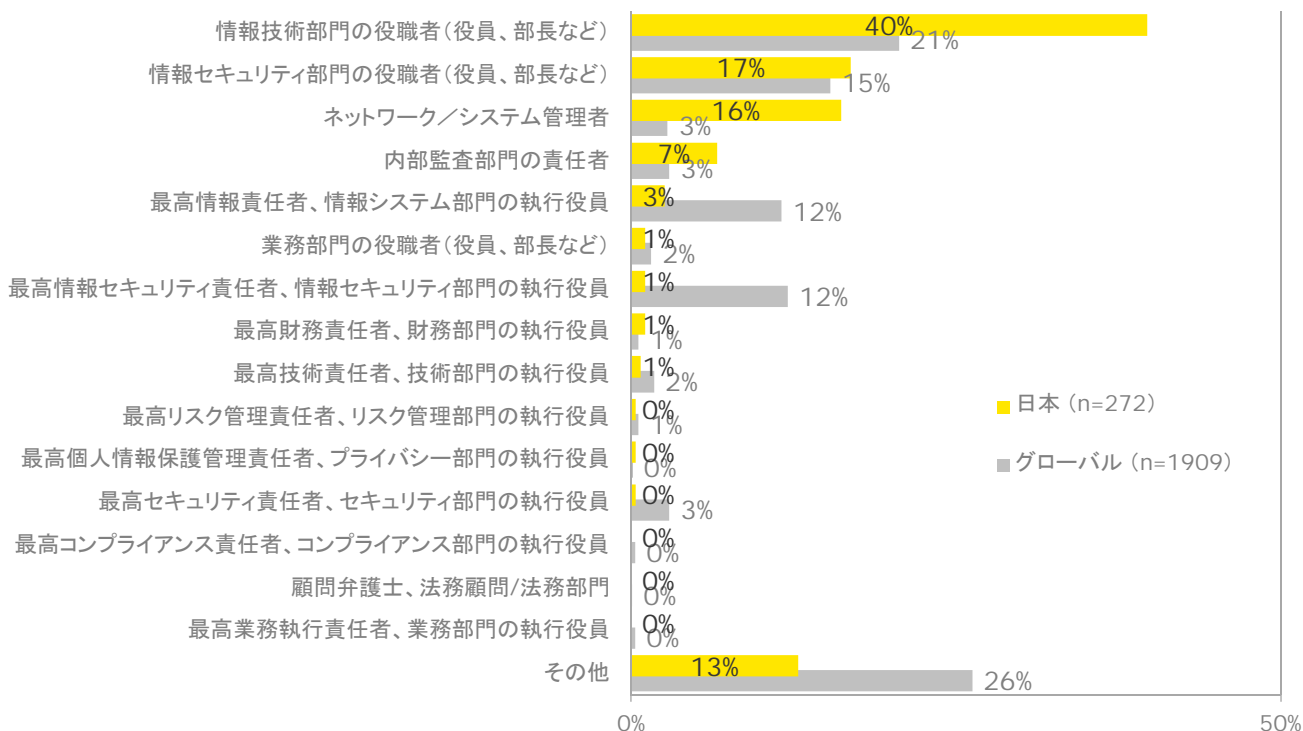
EY's Global Information Security Survey 2013 | 8



サーベイ回答企業の情報 従業員数別内訳



サーベイ回答企業の情報 回答者別内訳



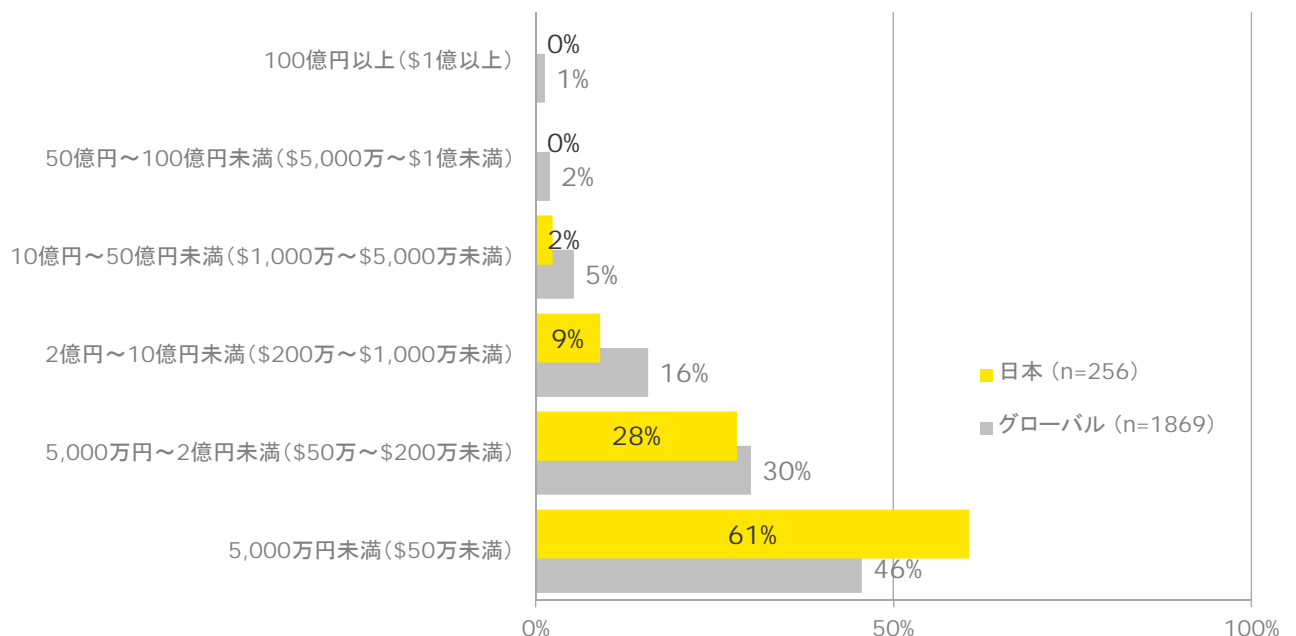


調査結果

1. セキュリティ予算と投資

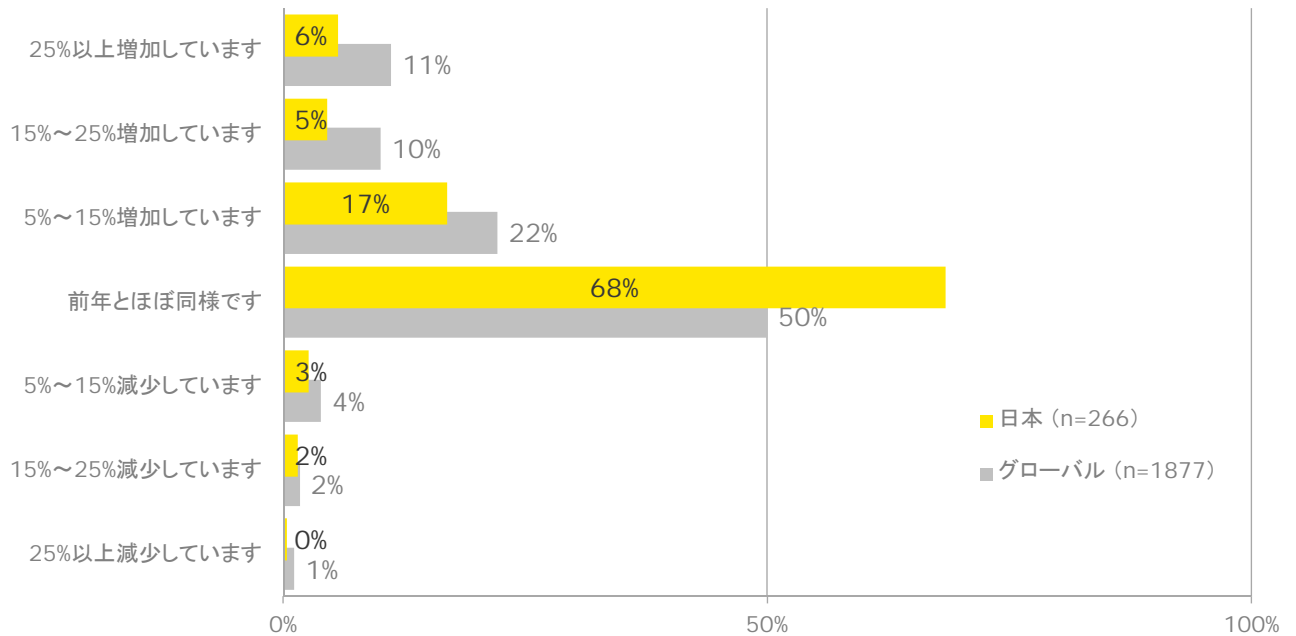
1. セキュリティ予算と投資

Q1. 貴社の情報セキュリティ費用について、費用総額に該当するものを1つ選択してください。(人件費、プロセス費、技術費を含みます)
(US\$1:100円換算)



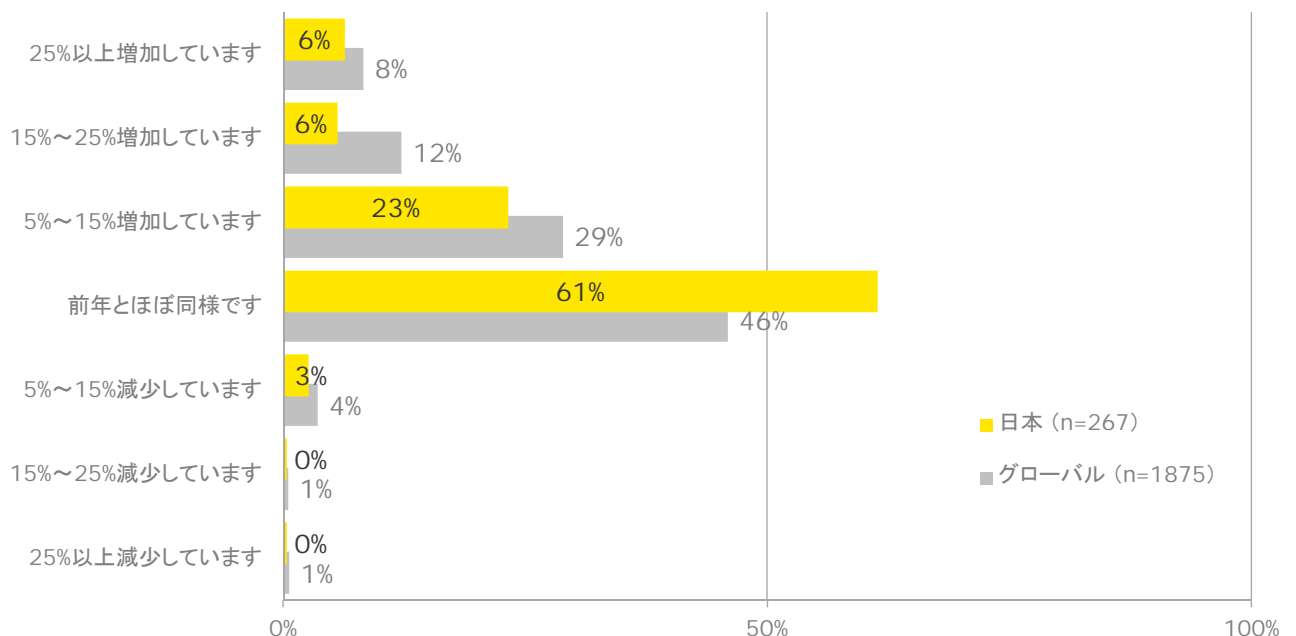
1. セキュリティ予算と投資

Q2. 過去12か月間(または前年度)の情報セキュリティ予算総額の変化について、貴社に該当するものを1つ選択してください。



1. セキュリティ予算と投資

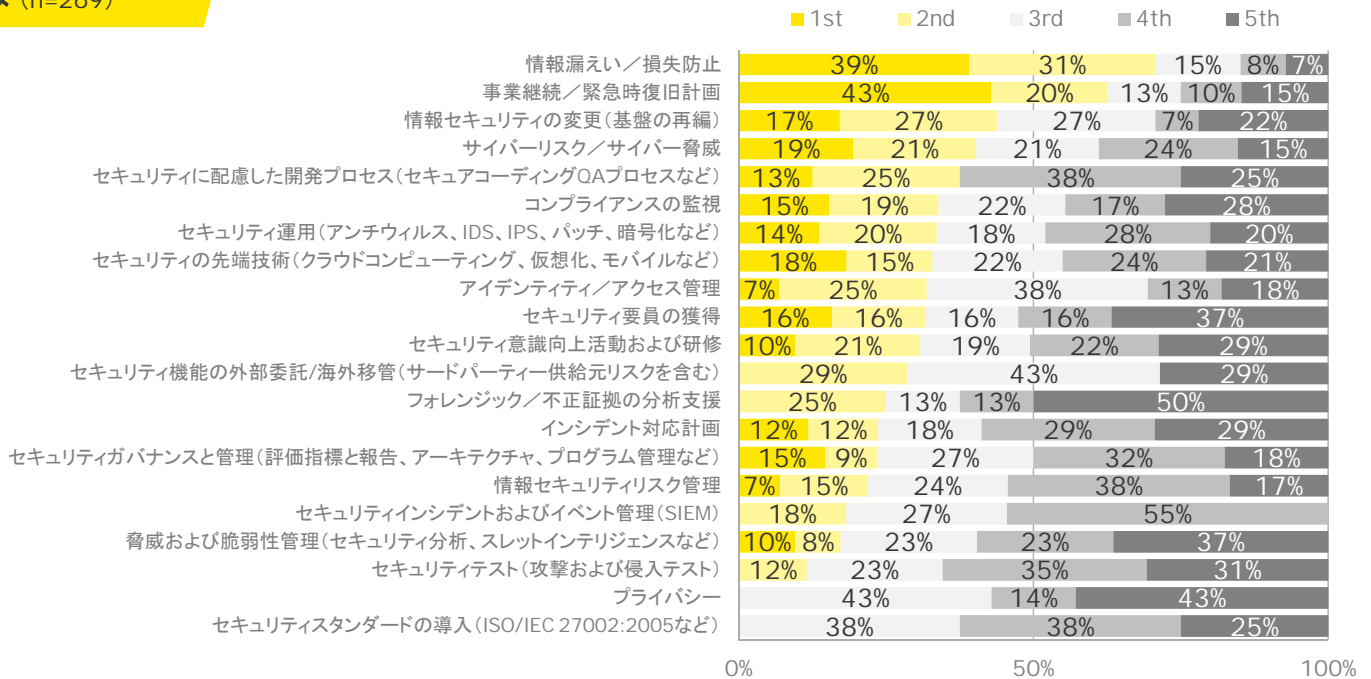
Q3. 今後12か月間(または当年度)の情報セキュリティ予算総額の変化について、貴社に該当するものを1つ選択してください。



1.セキュリティ予算と投資

Q4. 今後12か月間(または当年度)で「最優先」と考えるセキュリティ項目を下記より5つ選択し、優先度の高いものから順に1、2、3、4、5と番号をご記入ください。

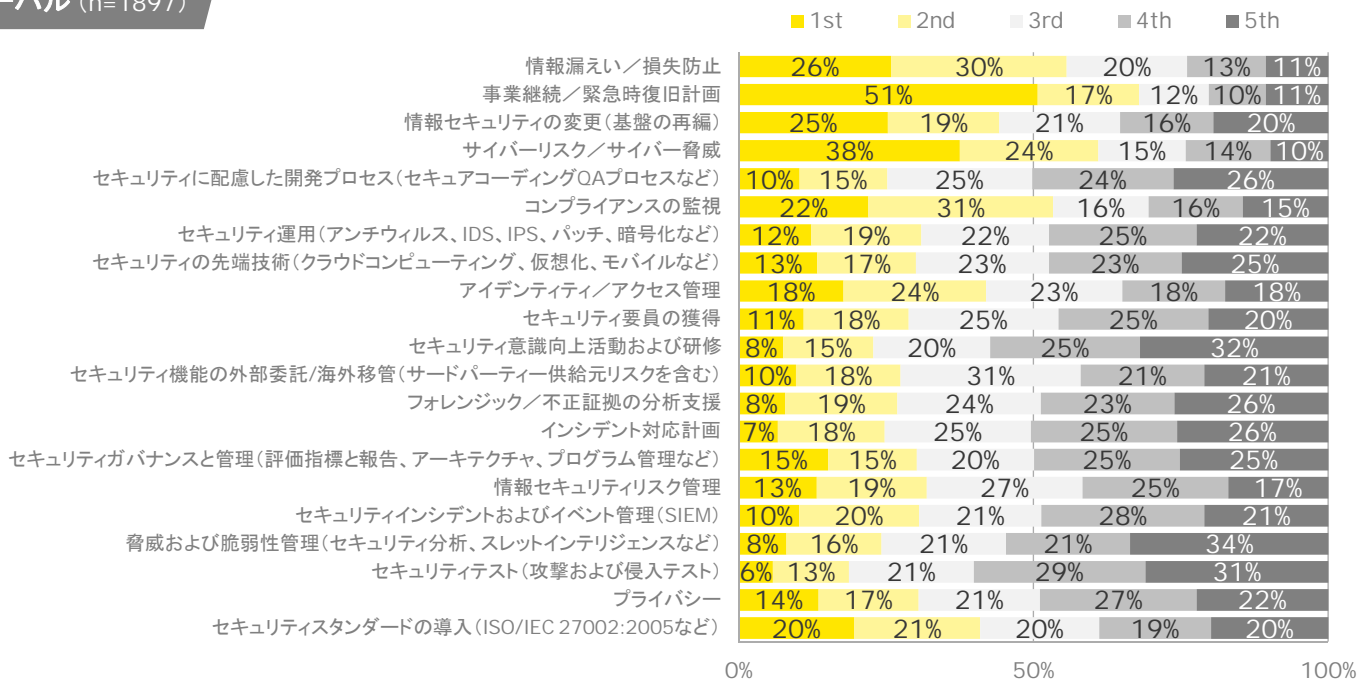
日本 (n=269)



1.セキュリティ予算と投資

Q4. 今後12か月間(または当年度)で「最優先」と考えるセキュリティ項目を下記より5つ選択し、優先度の高いものから順に1、2、3、4、5と番号をご記入ください。

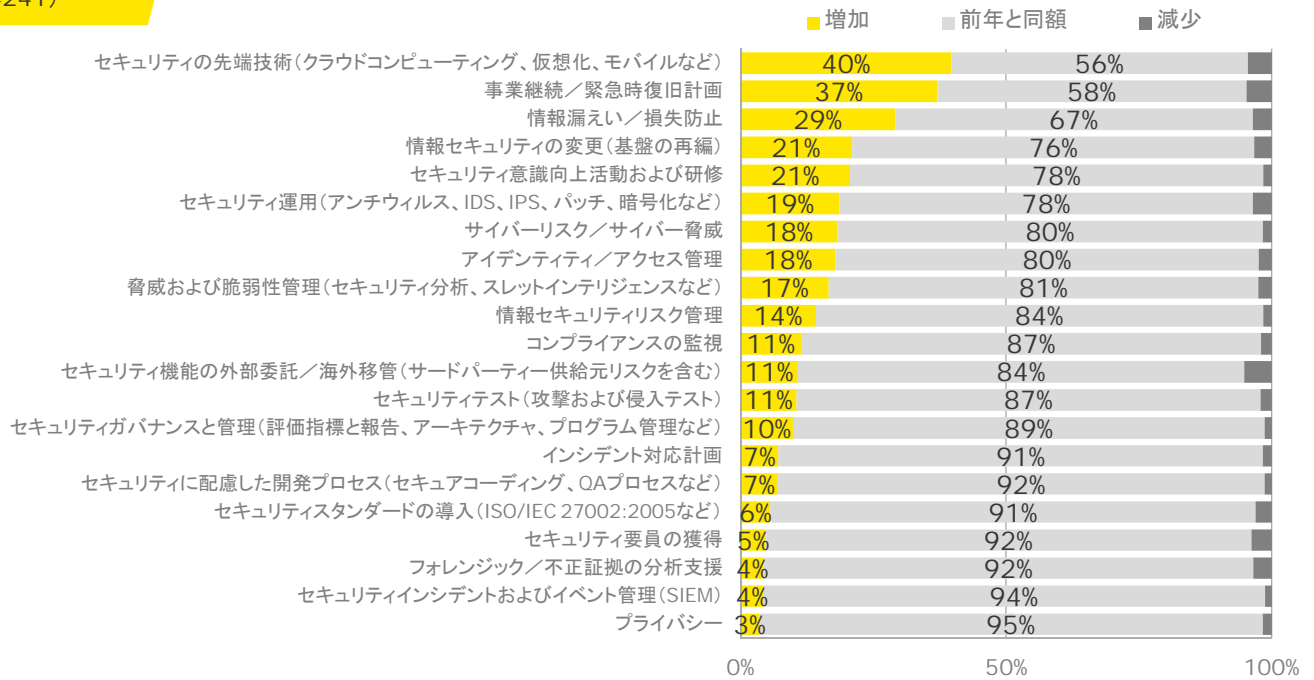
グローバル (n=1897)



1.セキュリティ予算と投資

Q5. 当年度の予算を前年度と比較した場合、「増加」「減少」「前年と同額」から該当するものを1つ選択してください。

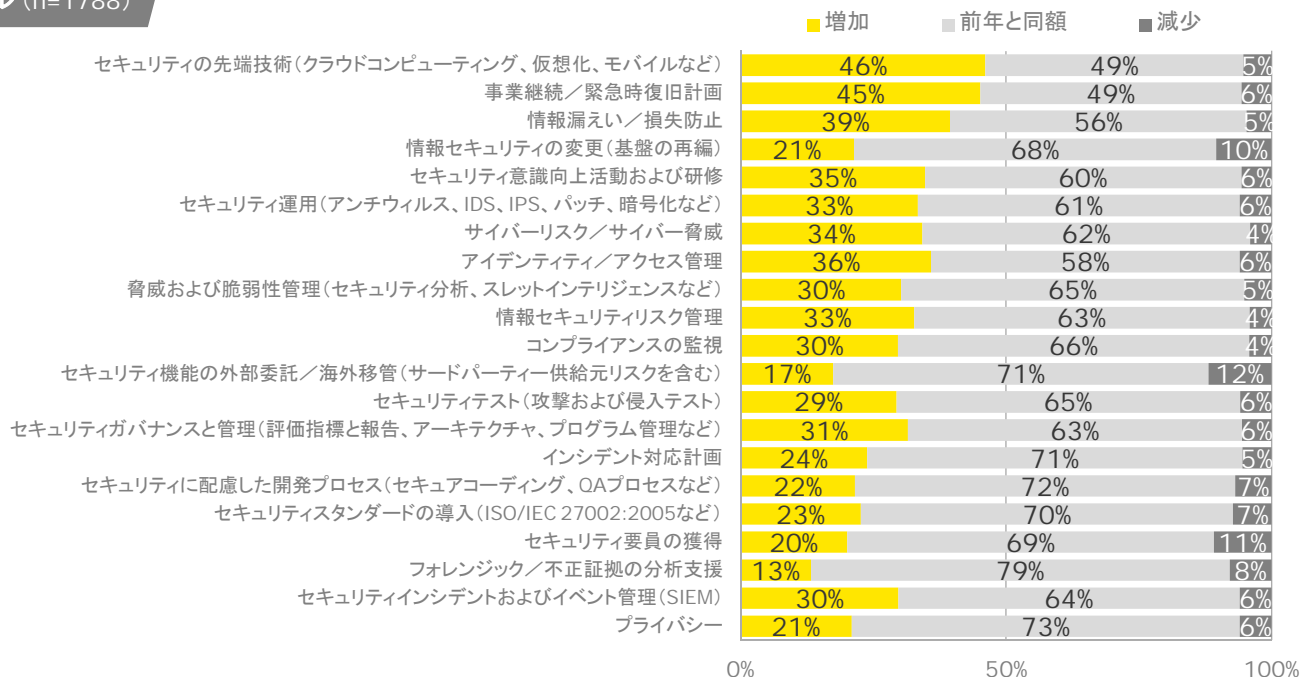
日本 (n=241)



1.セキュリティ予算と投資

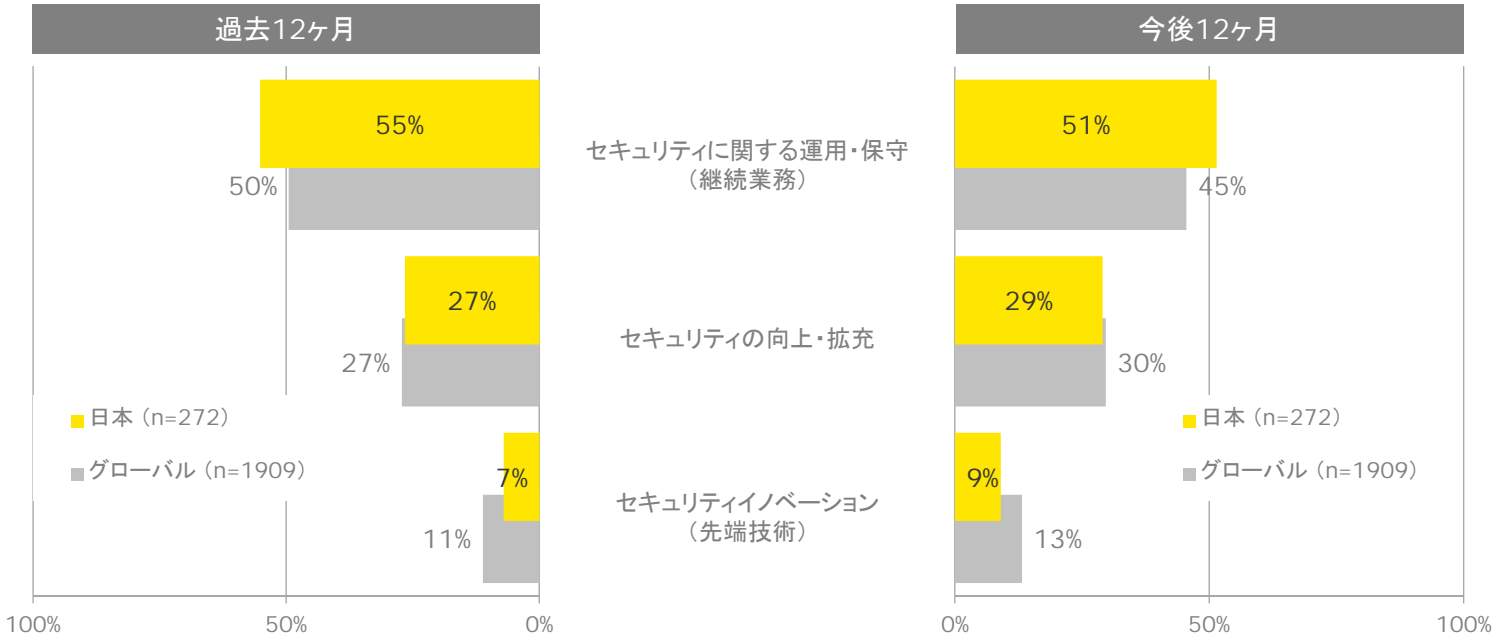
Q5. 当年度の予算を前年度と比較した場合、「増加」「減少」「前年と同額」から該当するものを1つ選択してください。

グローバル (n=1788)



1.セキュリティ予算と投資

Q6. 過去12か月および今後12か月の情報セキュリティ費用総額に占める機能分野ごとの費用割合(概算%)を記入してください。



© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

EY's Global Information Security Survey 2013 | 19



1.セキュリティ予算と投資

Q6. 過去12か月および今後12か月の情報セキュリティ費用総額に占める機能分野ごとの費用割合(概算%)を記入してください。

Q6の選択肢の説明

- セキュリティに関する運用・保守(継続業務)**
 - ▶ セキュリティ意識向上活動、研修、コミュニケーション
 - ▶ セキュリティガバナンスと管理(評価指標と報告、アーキテクチャ、プログラム管理など)
 - ▶ セキュリティ運用(アンチウイルス、IDS、IPS、パッチ、暗号化など)
 - ▶ セキュリティテスト(ウェブアプリケーションテスト、侵入テストなど)
- セキュリティの向上・拡充**
 - ▶ アイデンティティおよびアクセスの管理
 - ▶ 脅威および脆弱性の管理
 - ▶ プライバシー
 - ▶ データの整合性(情報の正確性、信頼性)に関する活動
 - ▶ セキュリティ関連インシデントおよびイベント管理
 - ▶ コンプライアンス管理およびサポート
 - ▶ 事業継続管理および緊急時復旧計画
- セキュリティイノベーション(先端技術)**

© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

EY's Global Information Security Survey 2013 | 20



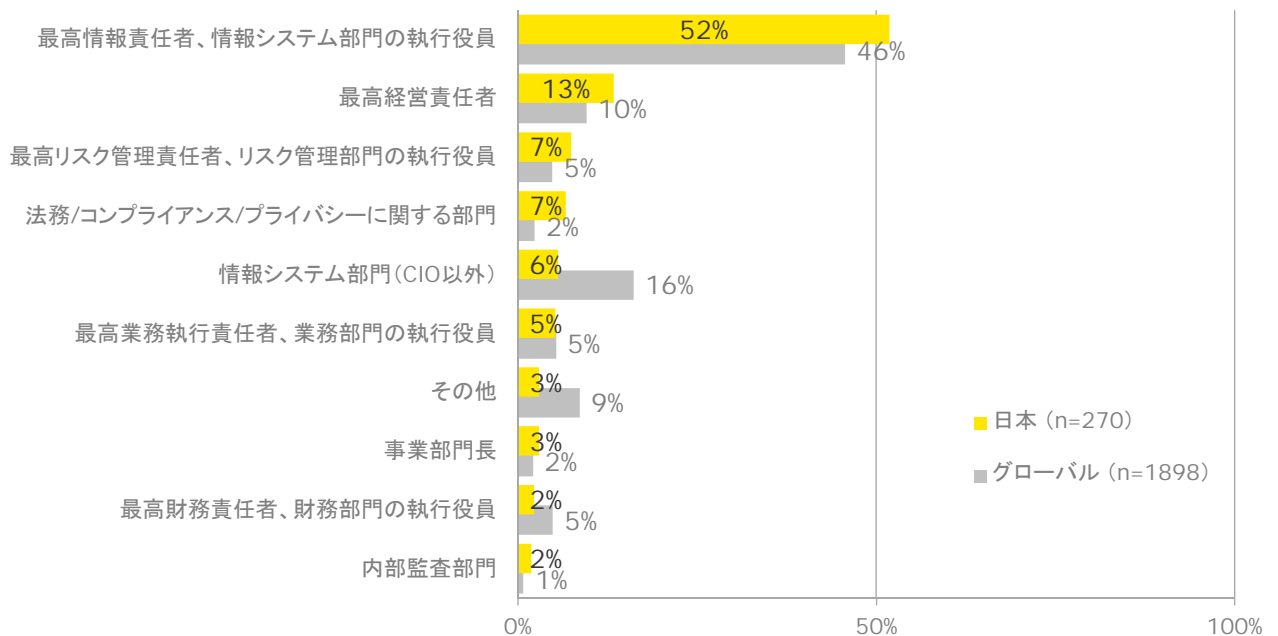


調査結果

2. セキュリティガバナンス

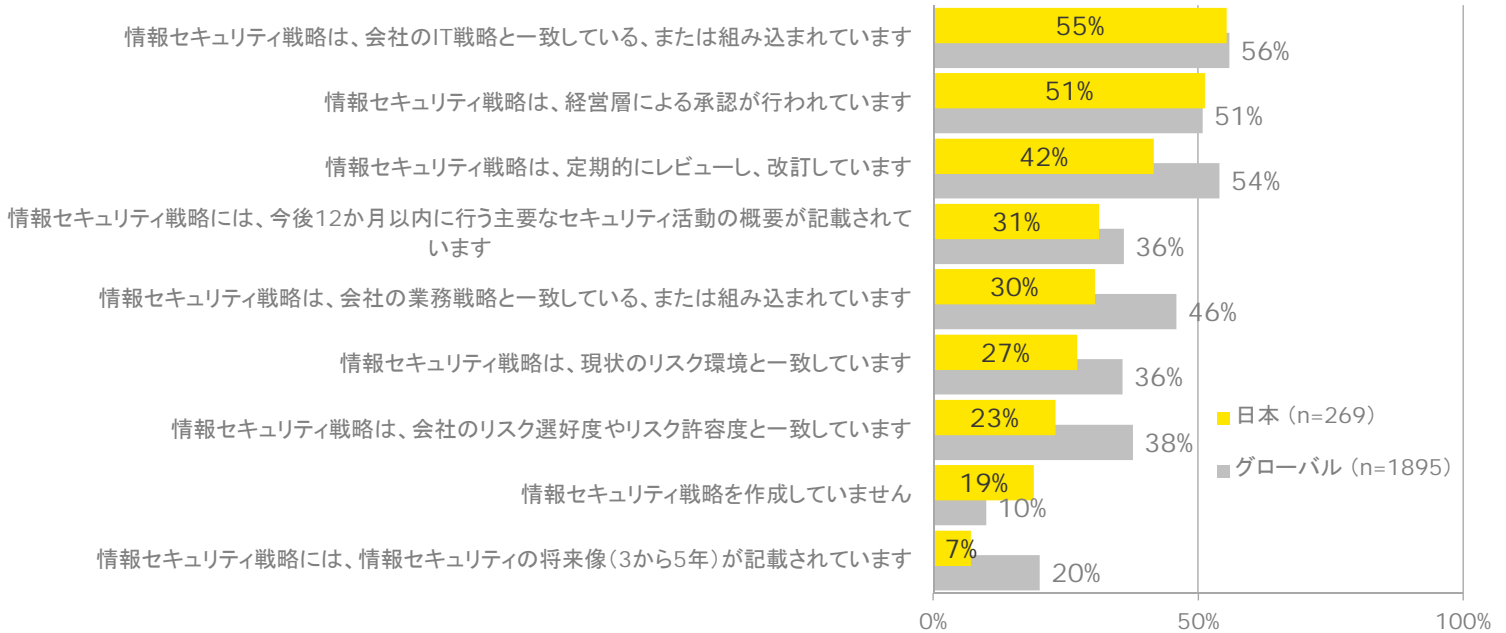
2. セキュリティガバナンス

Q7. 情報セキュリティ組織が報告を行う主な報告先について、下記の項目から該当するものを1つ選択してください。



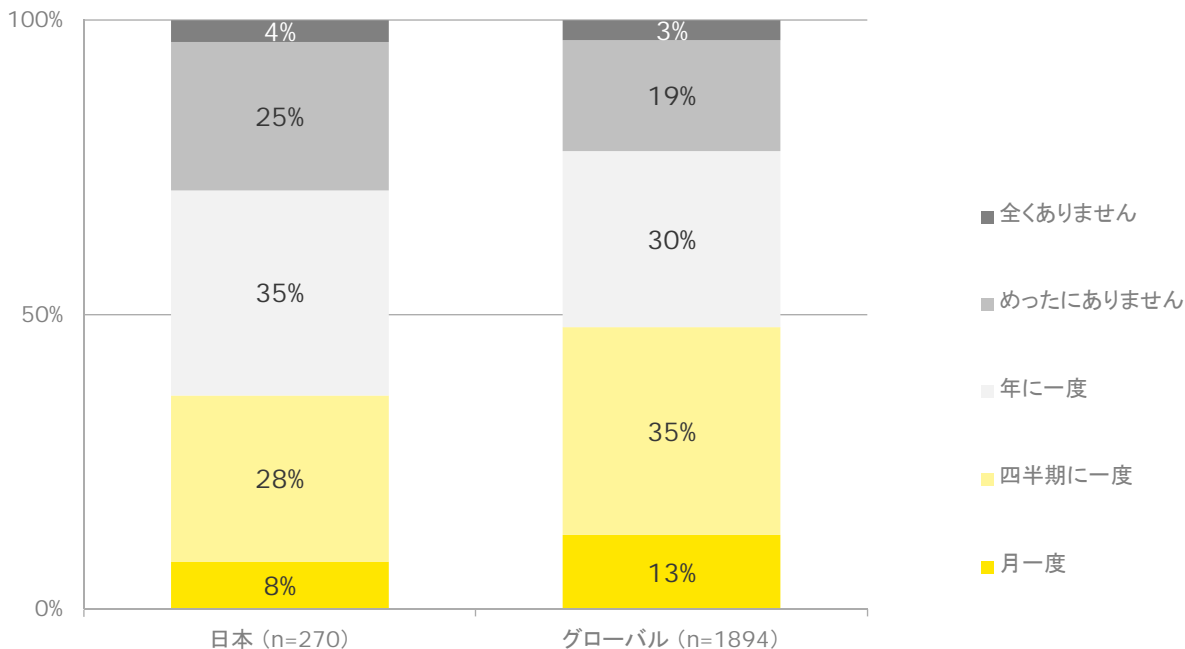
2. セキュリティガバナンス

Q8. 貴社の情報セキュリティ戦略について、該当するものをすべて選択してください。



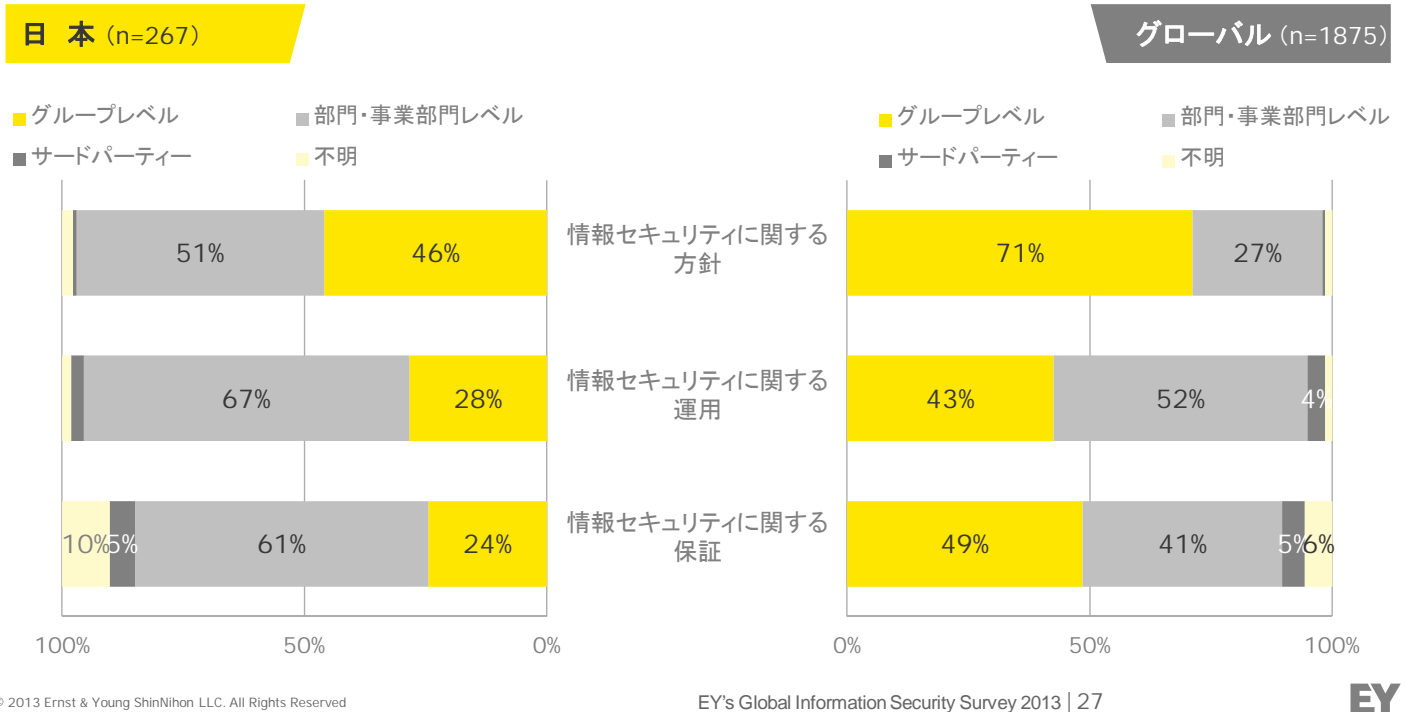
2. セキュリティガバナンス

Q9. どのくらいの頻度で、情報セキュリティに関するトピックが貴社の取締役会(または経営トップの会議)で取り上げられますか? 該当するものを1つ選択してください。



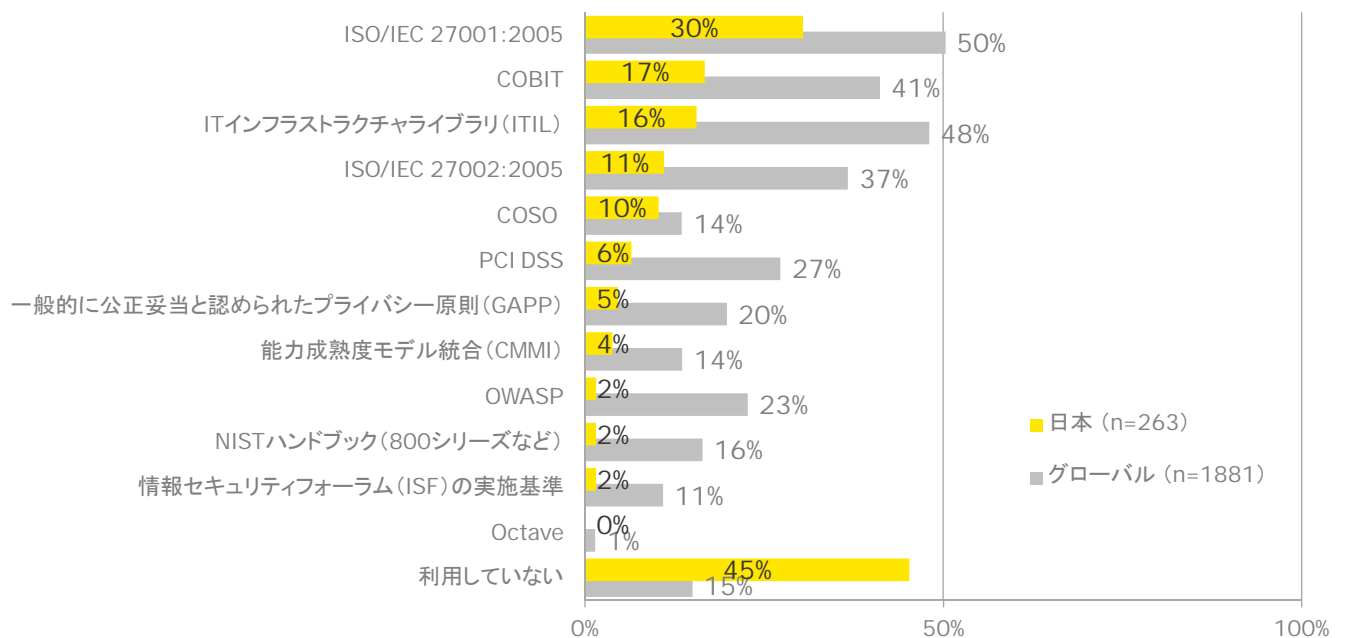
2. セキュリティガバナンス

Q10. 情報セキュリティに関する方針、運用、保証などの責任を担うのはどの組織レベルですか？(以下より1つ選択してください)



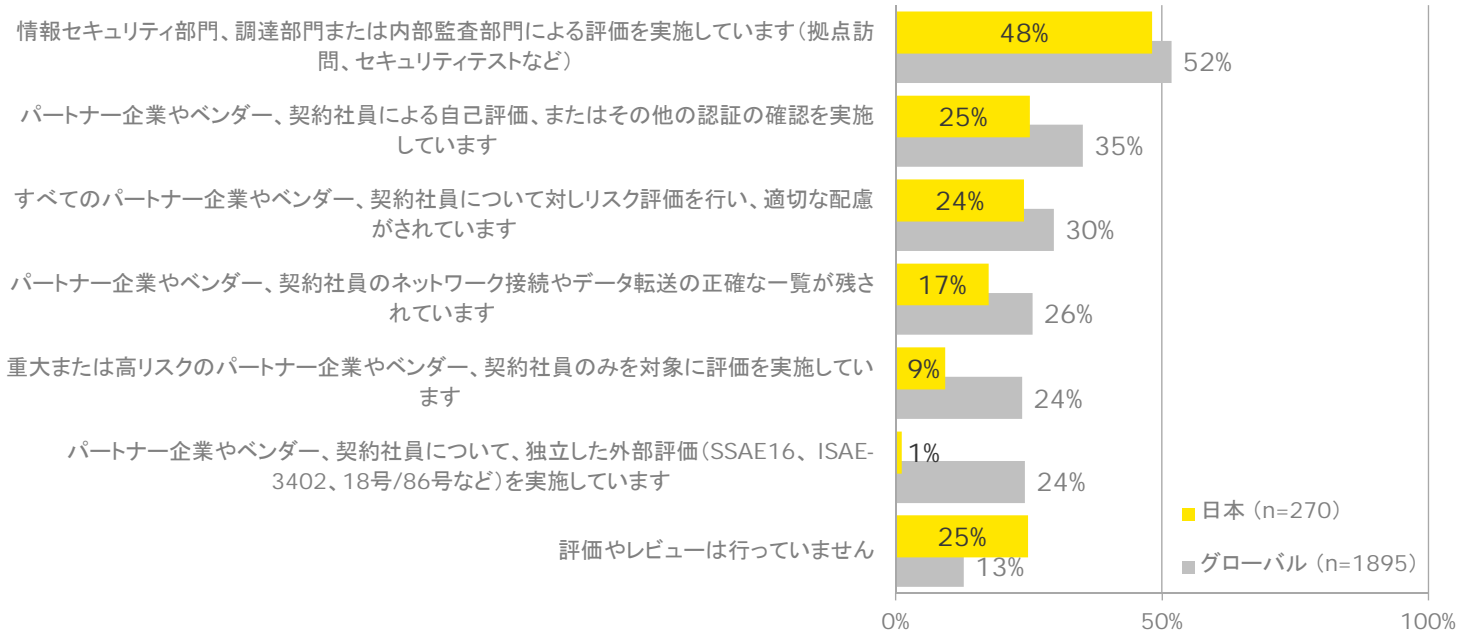
2. セキュリティガバナンス

Q11. 貴社で利用しているセキュリティ基準・フレームワークについて、該当するものをすべて選択してください。



2. セキュリティガバナンス

Q12. パートナー企業、ベンダー、契約社員が貴社の情報を適切に取り扱い、管理するために、どのような対策を実施していますか？
該当するものをすべて選択してください。





調査結果

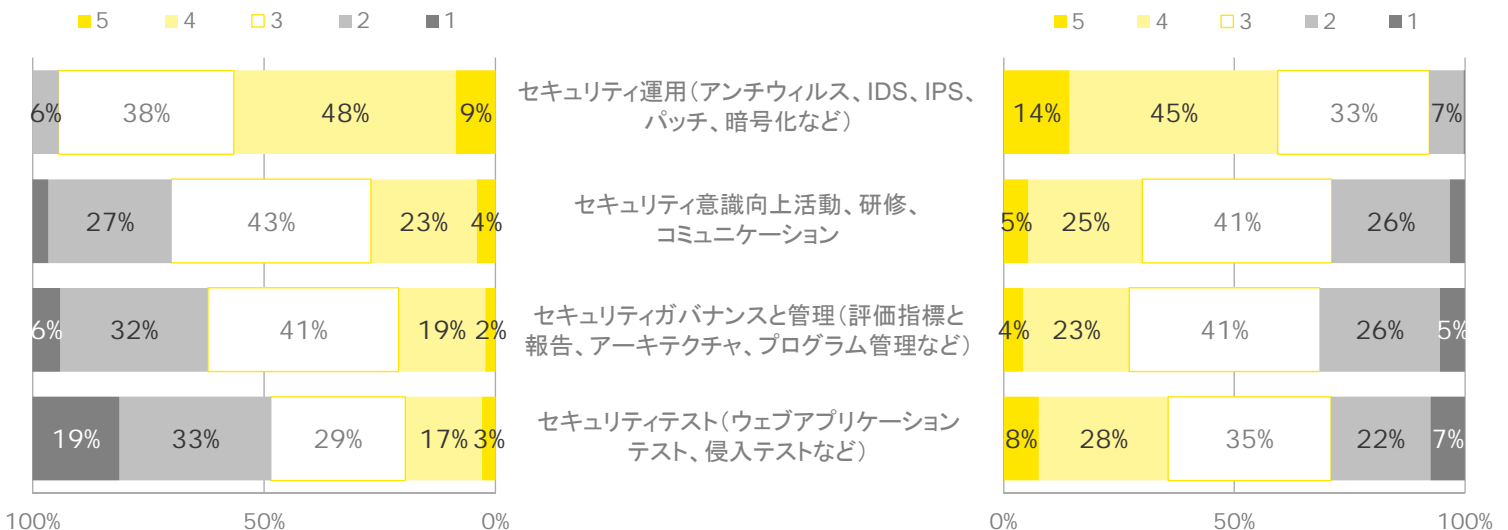
3. 情報セキュリティの有効性

3. 情報セキュリティの有効性

Q13. 以下のセキュリティ管理プロセスについて、貴社における各プロセスの成熟度を5段階評価で1～5から該当するものを選択してください。(1は、プロセスが存在しない、5は成熟度が非常に高い)

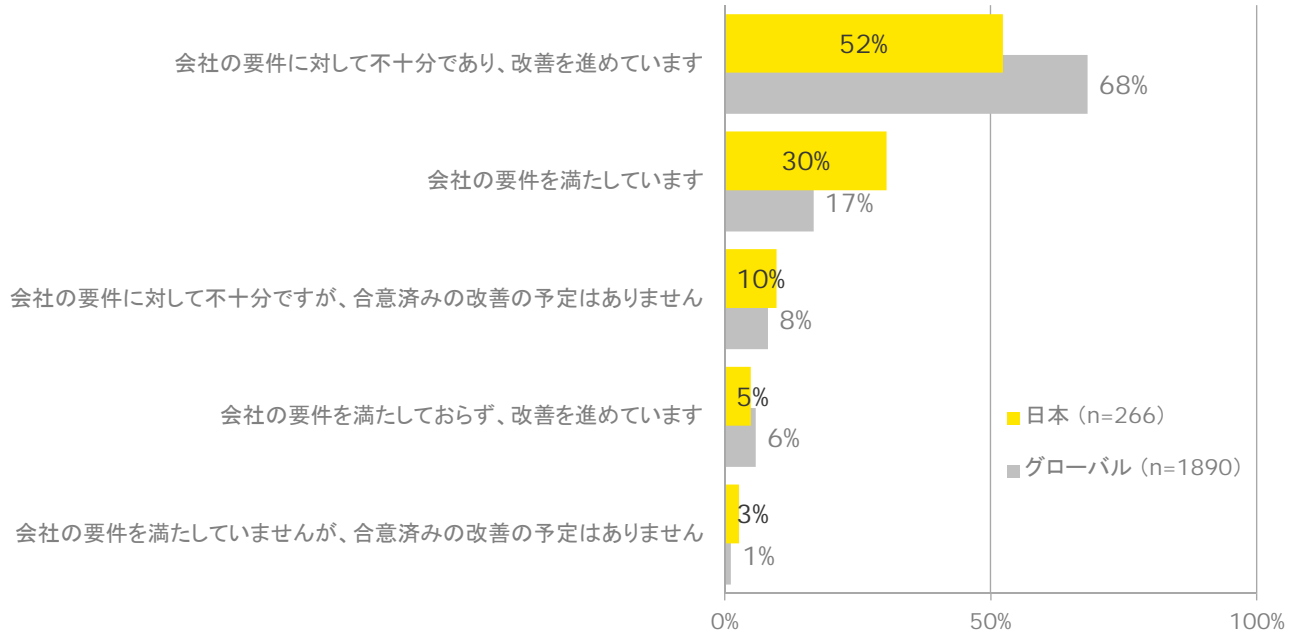
日本 (n=267)

グローバル (n=1890)



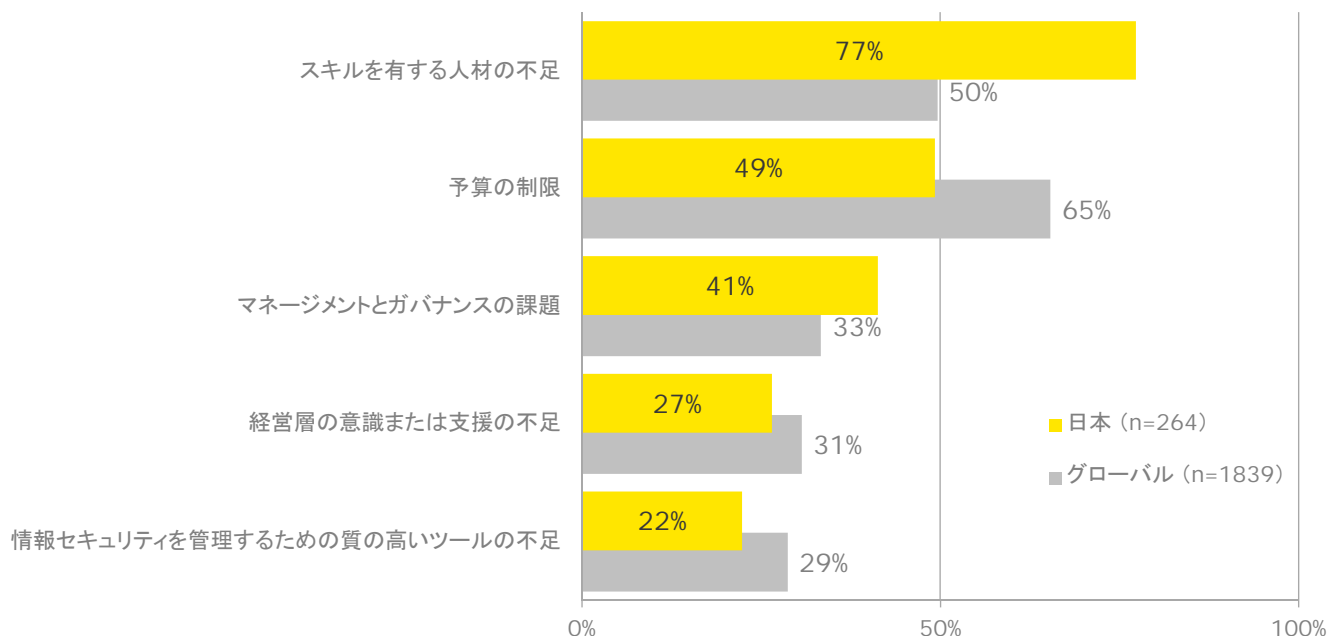
3. 情報セキュリティの有効性

Q14. 情報セキュリティ部門は貴社のニーズを満たしていますか？



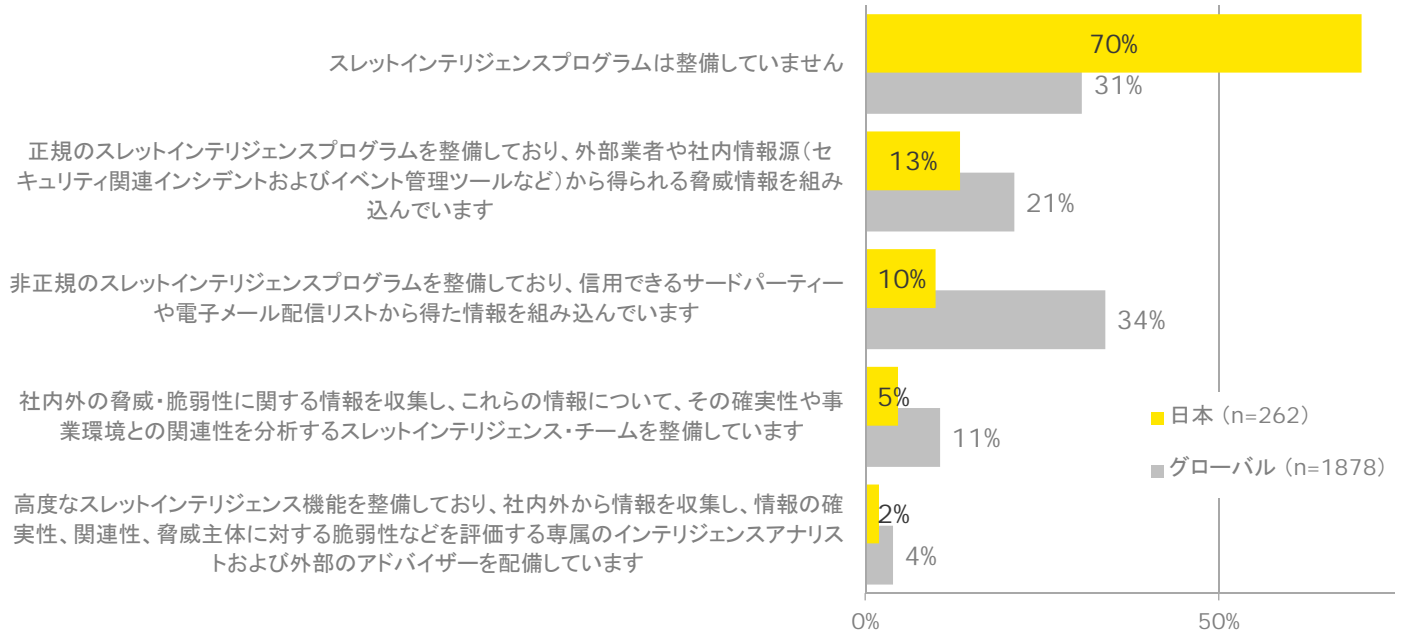
3. 情報セキュリティの有効性

Q15. 貴社において、情報セキュリティ運用の貢献に関する課題および組織の価値に関する障害、原因はなんですか？
該当するものをすべて選択してください。



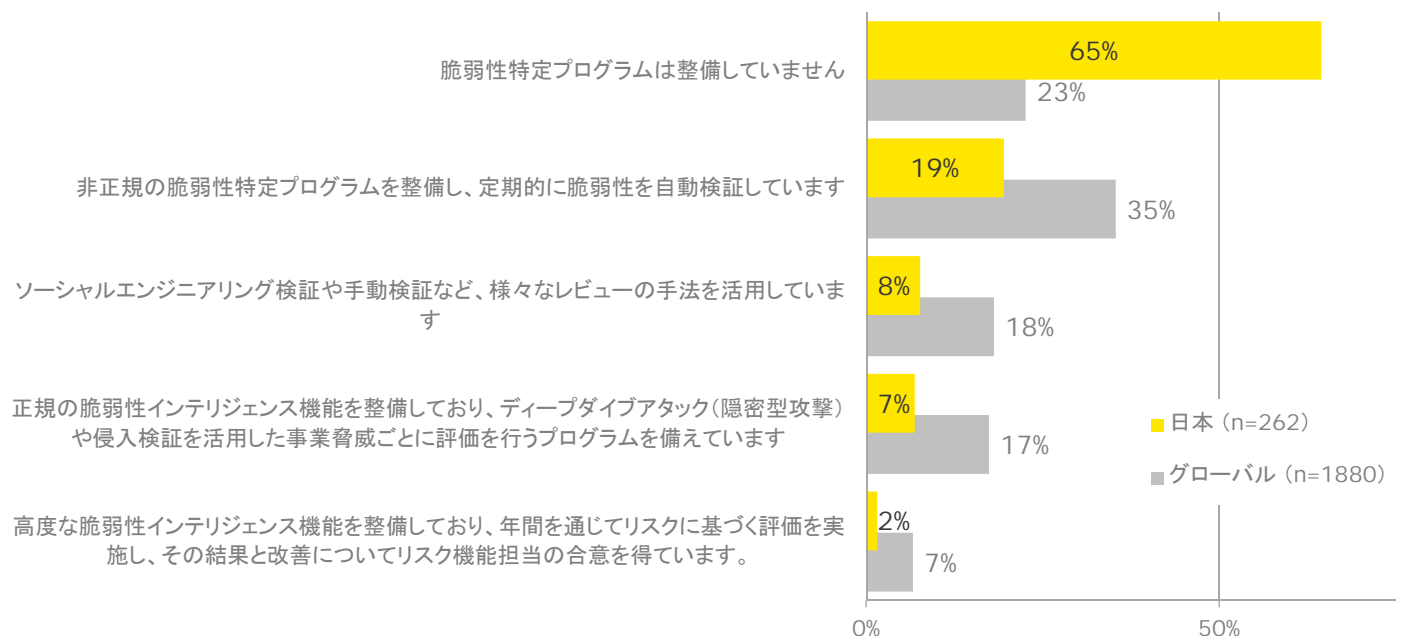
3. 情報セキュリティの有効性

Q16. 貴社のスレットインテリジェンスプログラムの成熟度について、該当するものを1つ選択してください。



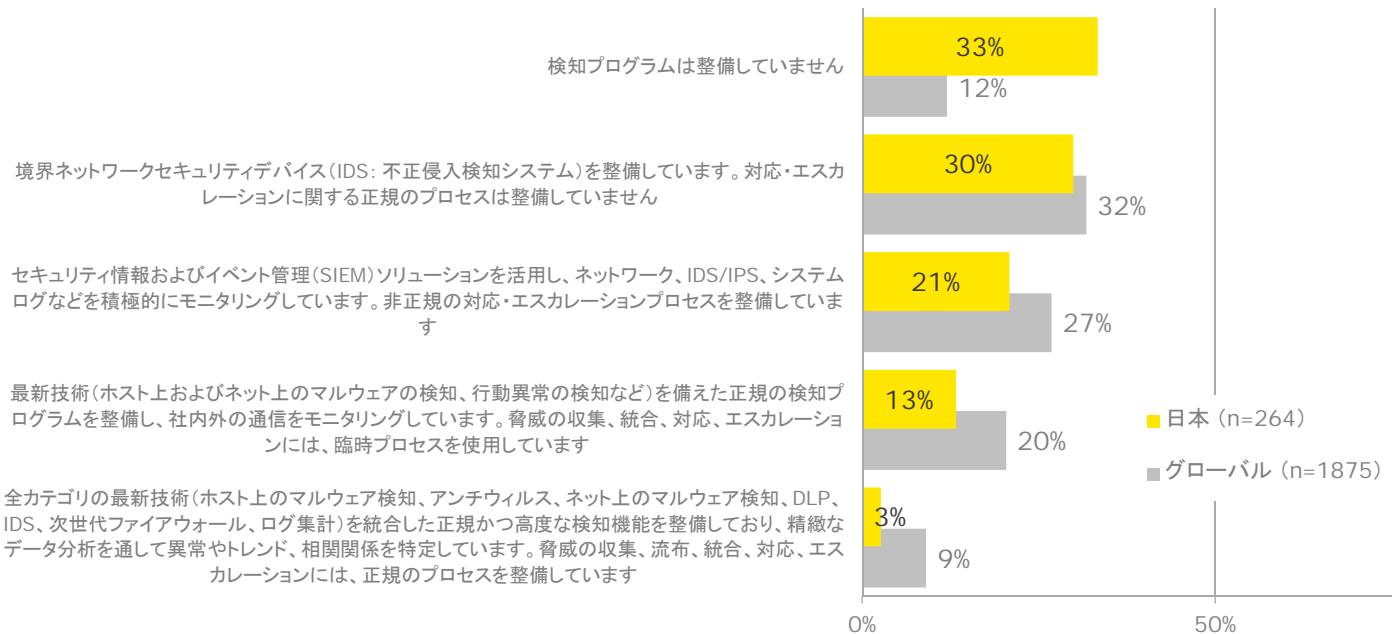
3. 情報セキュリティの有効性

Q17. 貴社の脆弱性特定能力の成熟度について、該当するものを1つ選択してください。



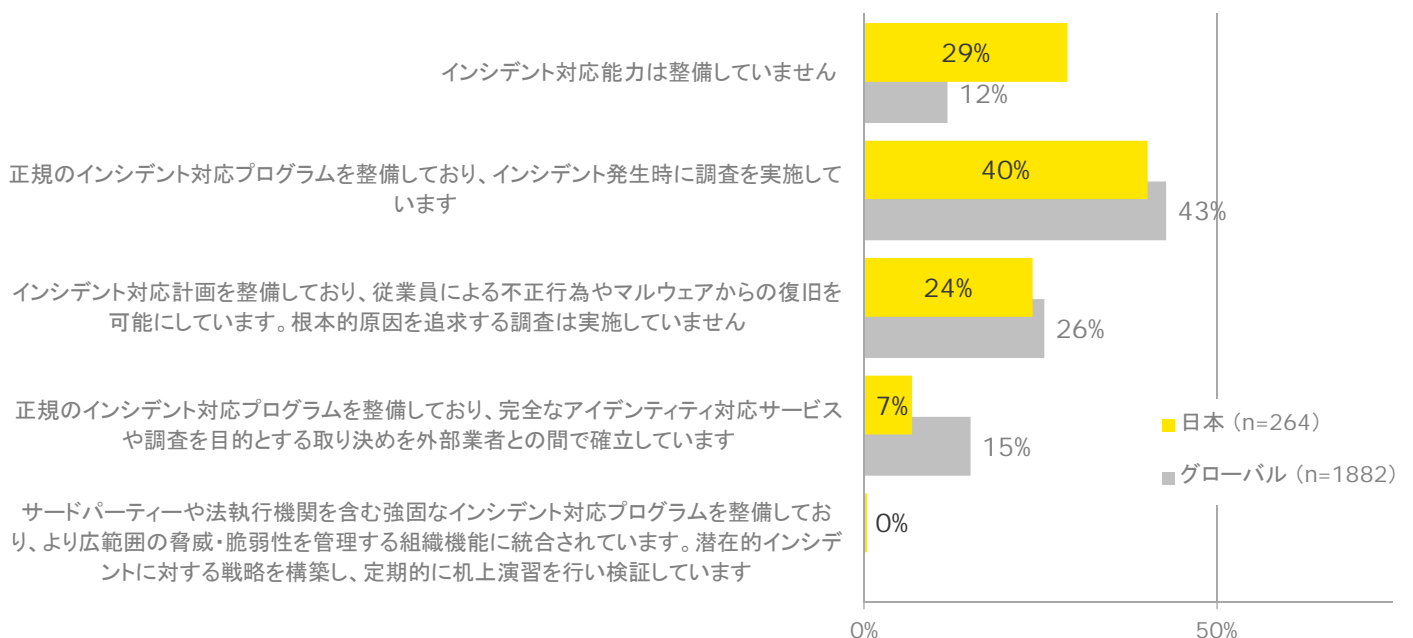
3.情報セキュリティの有効性

Q18. 貴社の検知プログラムの成熟度について、該当するものを1つ選択してください。



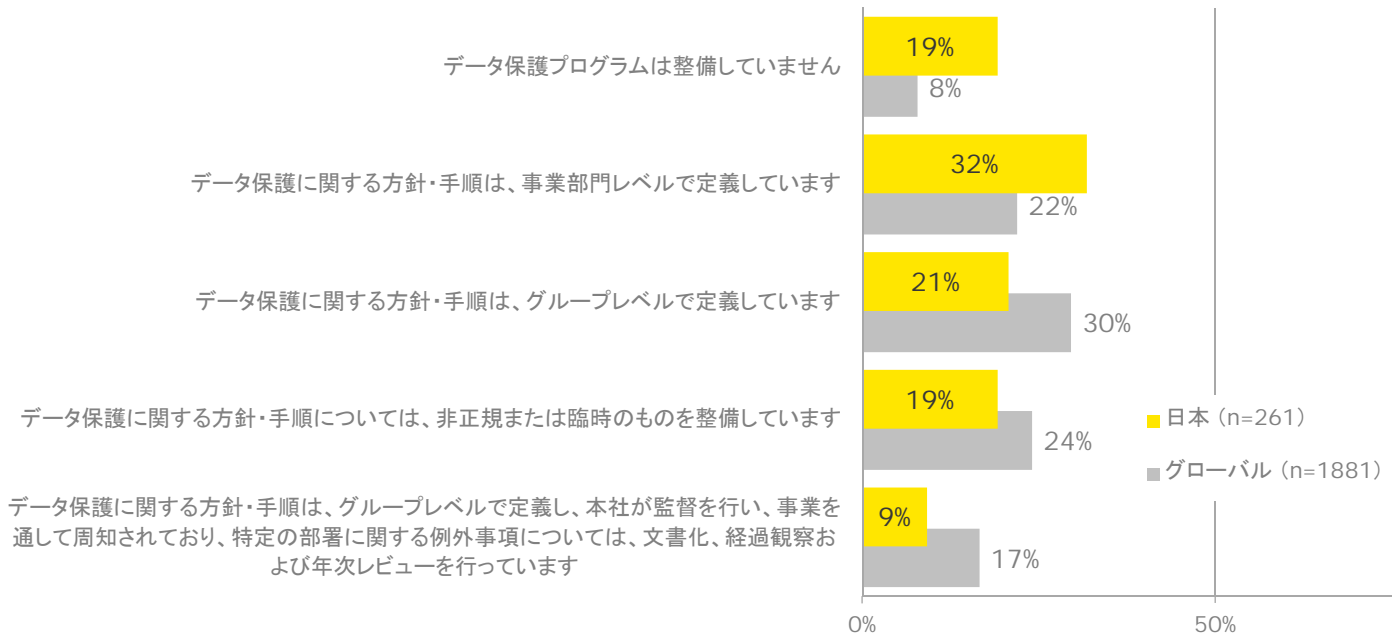
3.情報セキュリティの有効性

Q19. 貴社のインシデント対応能力の成熟度について、該当するものを1つ選択してください。



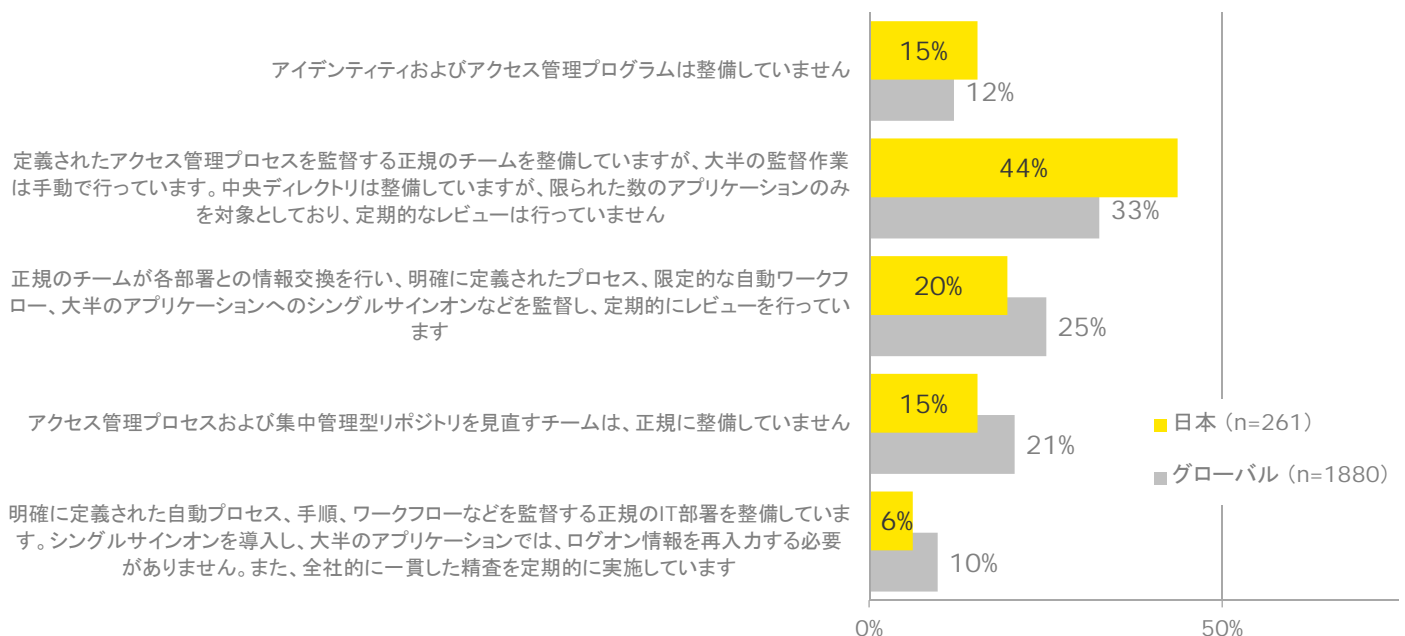
3. 情報セキュリティの有効性

Q20. 貴社のデータ保護プログラムの成熟度について、該当するものを1つ選択してください。



3. 情報セキュリティの有効性

Q21. 貴社のアイデンティティおよびアクセス管理プログラムの成熟度について、該当するものを1つ選択してください。



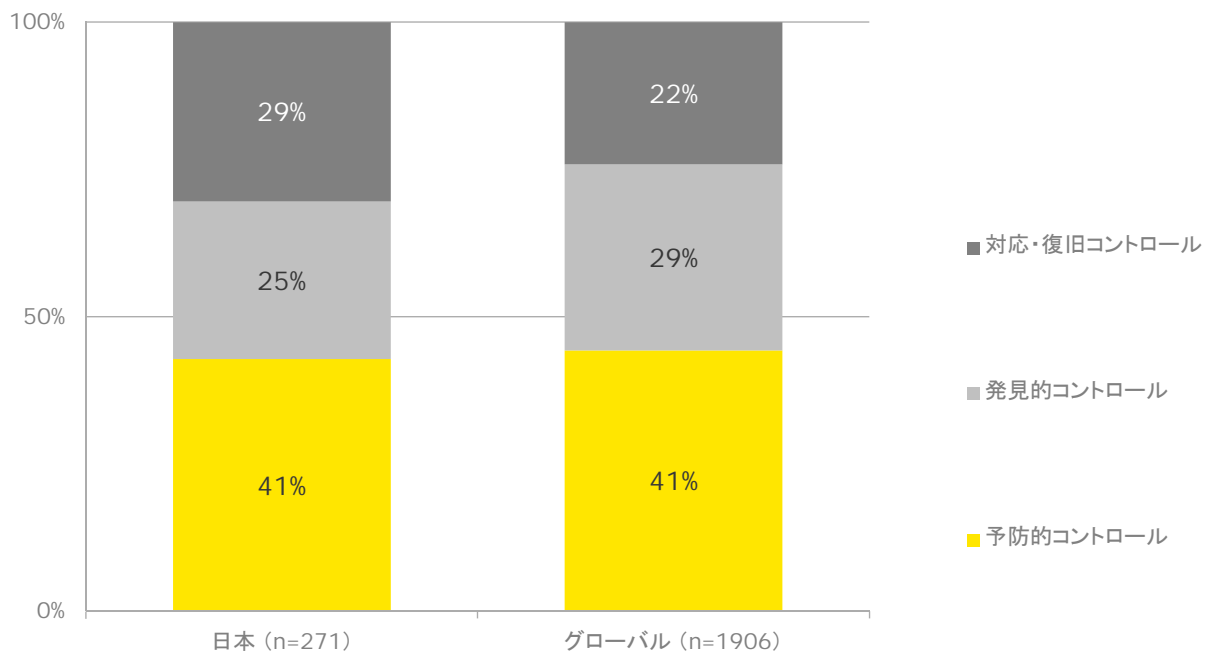


調査結果

4. 情報セキュリティ環境

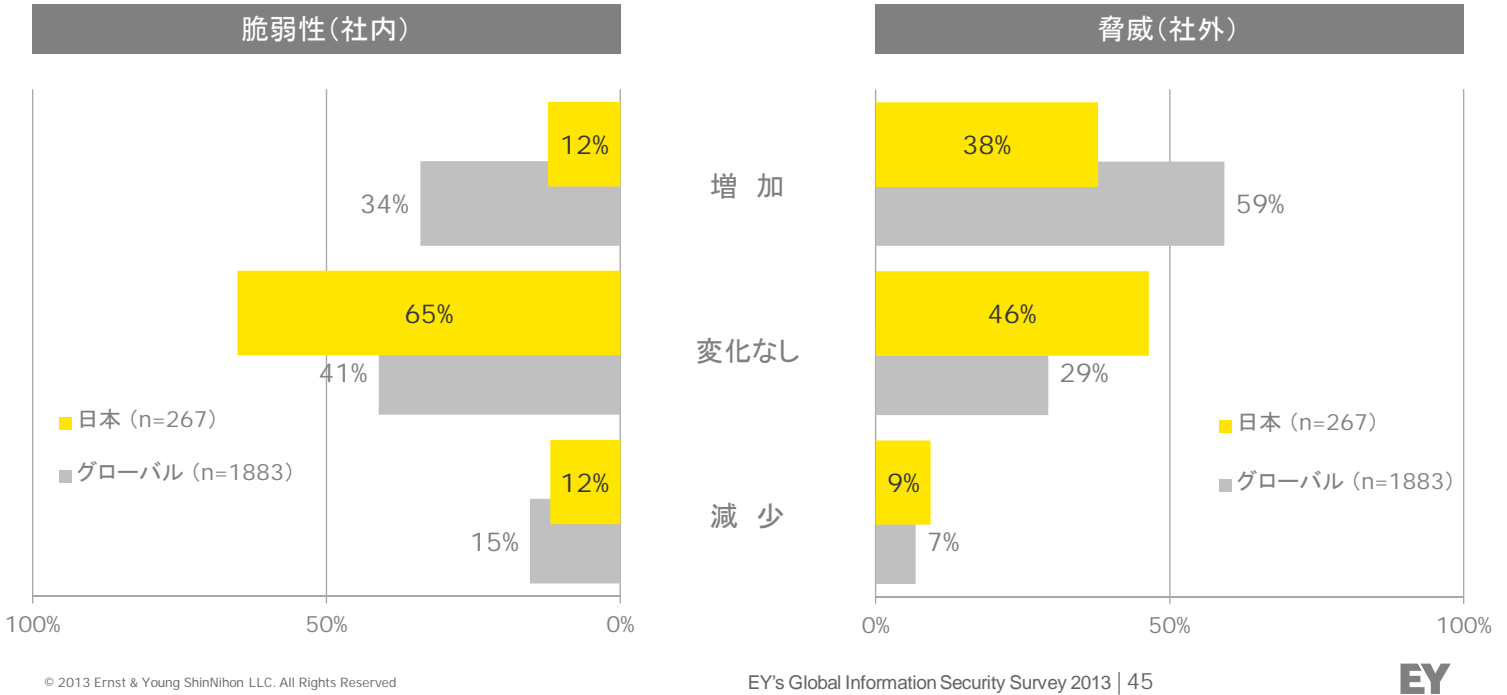
4. 情報セキュリティ環境

Q22. 情報セキュリティコントロール(統制)のために、費用や労力をどのような割合で配分していますか？
(合計が100%となるように割合(%)を記入してください)



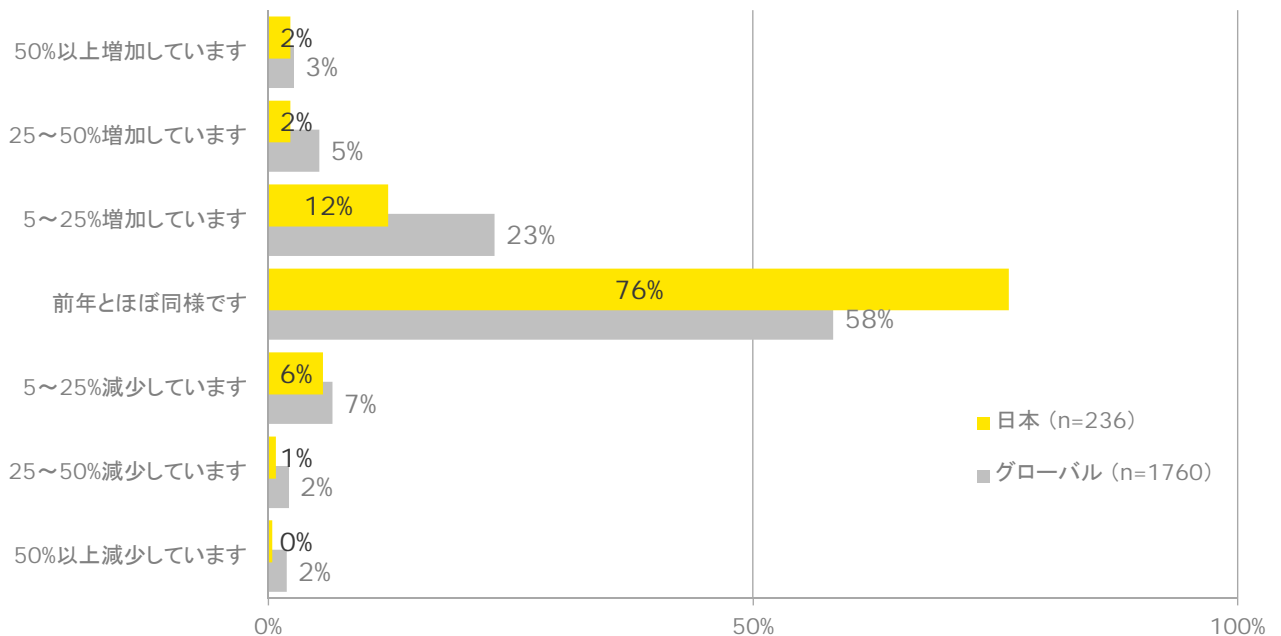
4. 情報セキュリティ環境

Q23. 貴社のリスク環境は過去12か月間にどのように変化しましたか？(該当するものをすべて選択してください)



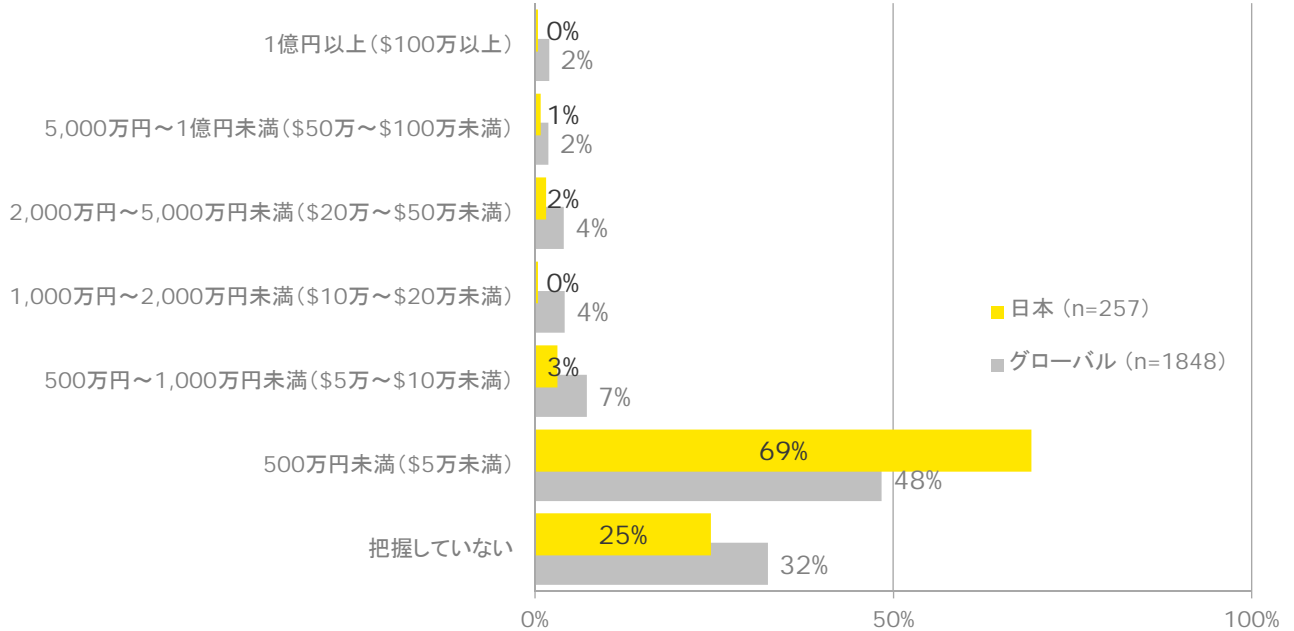
4. 情報セキュリティ環境

Q24. 貴社におけるセキュリティインシデント(*)の件数は、過去12か月間と比較してどのように変化しましたか？
(該当するものを1つ選択してください)



4. 情報セキュリティ環境

Q25. 前年度に発生した情報セキュリティインシデントに関する損失額について、貴社に該当するものを1つ選択してください。
 (損失額には、生産性の低下、法規制上の罰金などを含まれます。ただし、ブランドイメージの低下による費用もしくは収入の損失は含みません)

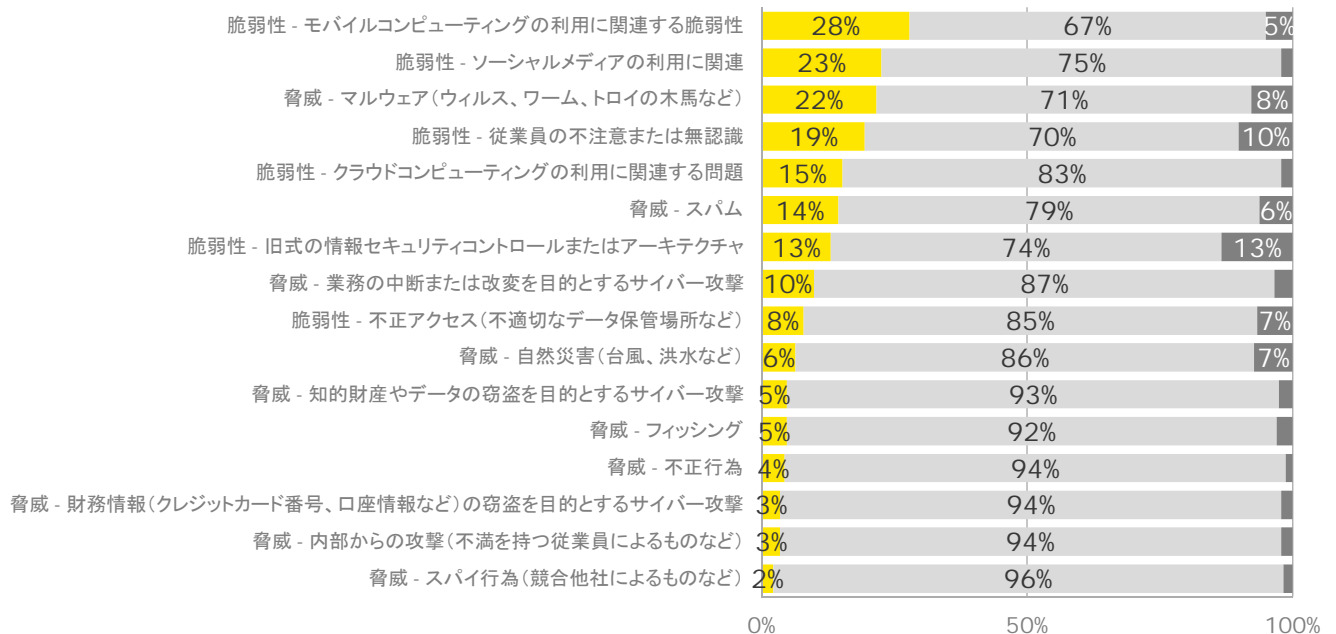


4. 情報セキュリティ環境

Q26. 貴社で実際に発生したインシデントについて、過去12か月間に貴社のリスクエクスポージャー(リスクにさらされる確率)に最も大きい変化を与えた脅威や脆弱性を選択してください。

日本 (n=236)

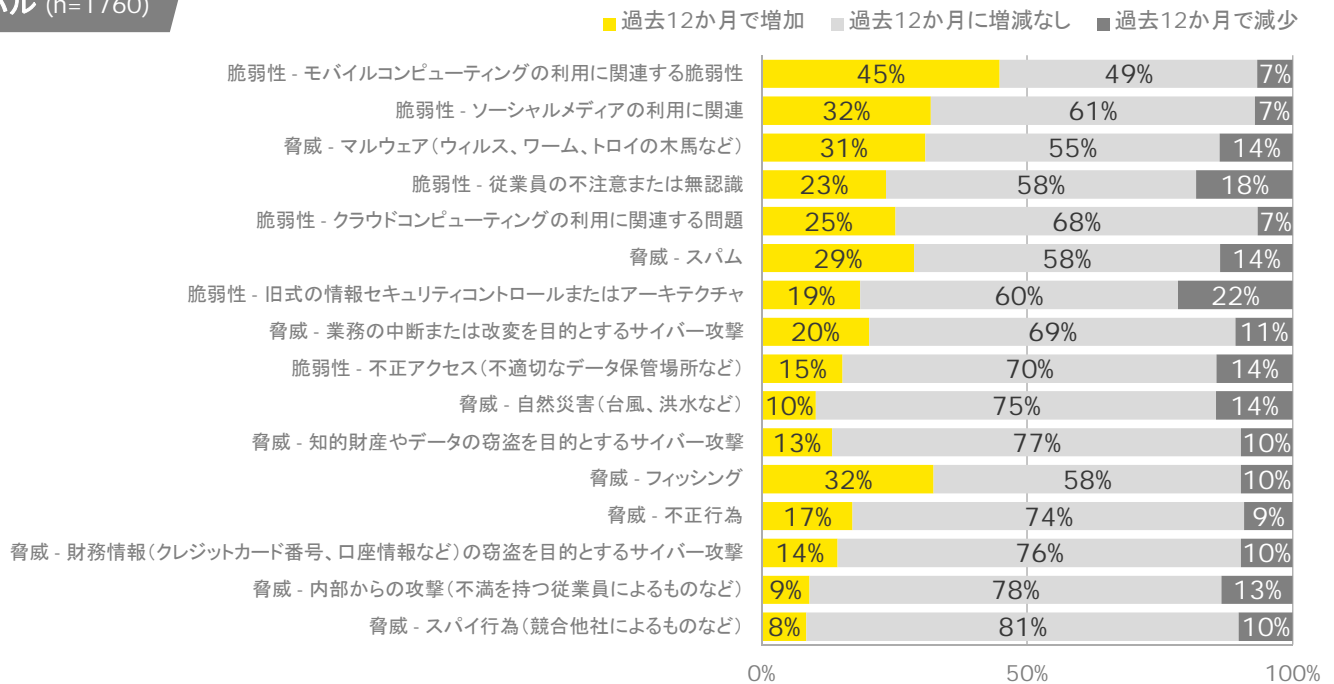
■ 過去12か月で増加 ■ 過去12か月に増減なし ■ 過去12か月で減少



4. 情報セキュリティ環境

Q26. 貴社で実際に発生したインシデントについて、過去12か月間に貴社のリスクエクスポージャー(リスクにさらされる確率)に最も大きい変化を与えた脅威や脆弱性を選択してください。

グローバル (n=1760)



© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

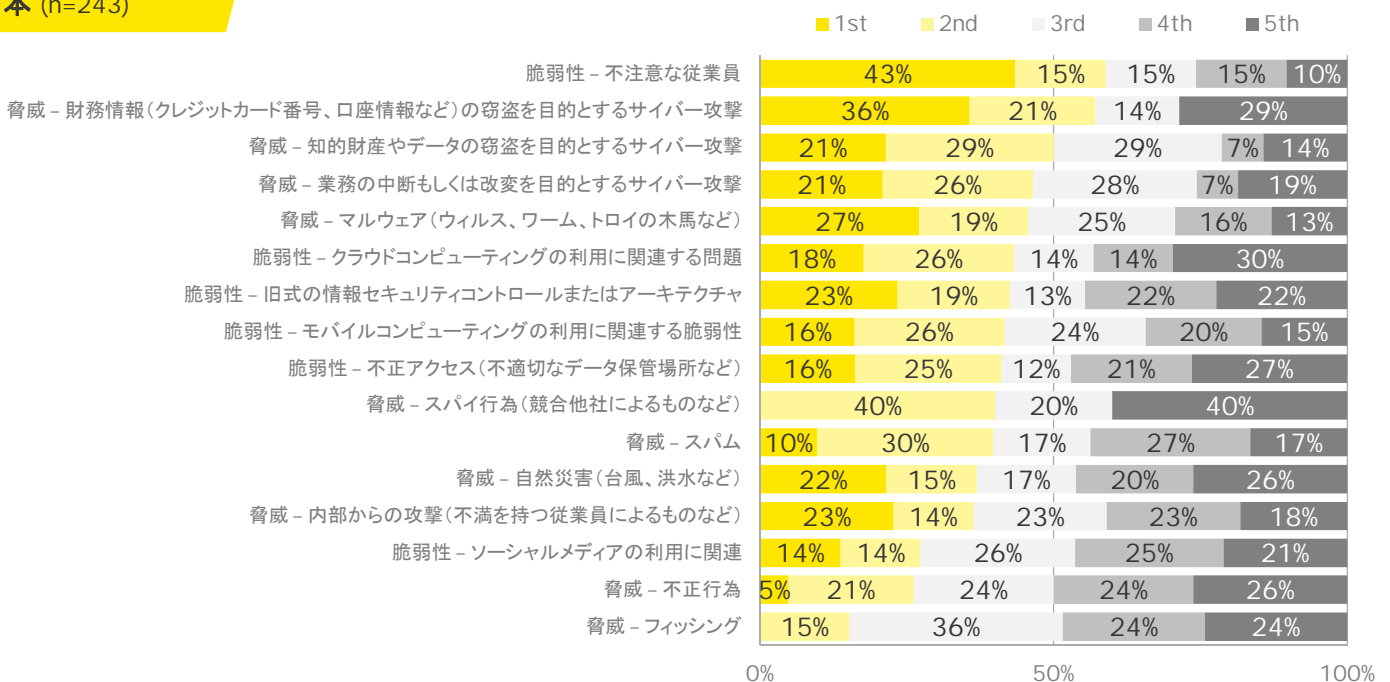
EY's Global Information Security Survey 2013 | 49



4. 情報セキュリティ環境

Q27. 過去12か月間に、貴社のリスクへの影響度を最も増加させた脅威および脆弱性について、下記より5つ選択し、優先度の高いものから順に1、2、3、4、5と番号をご記入ください。

日本 (n=243)



© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

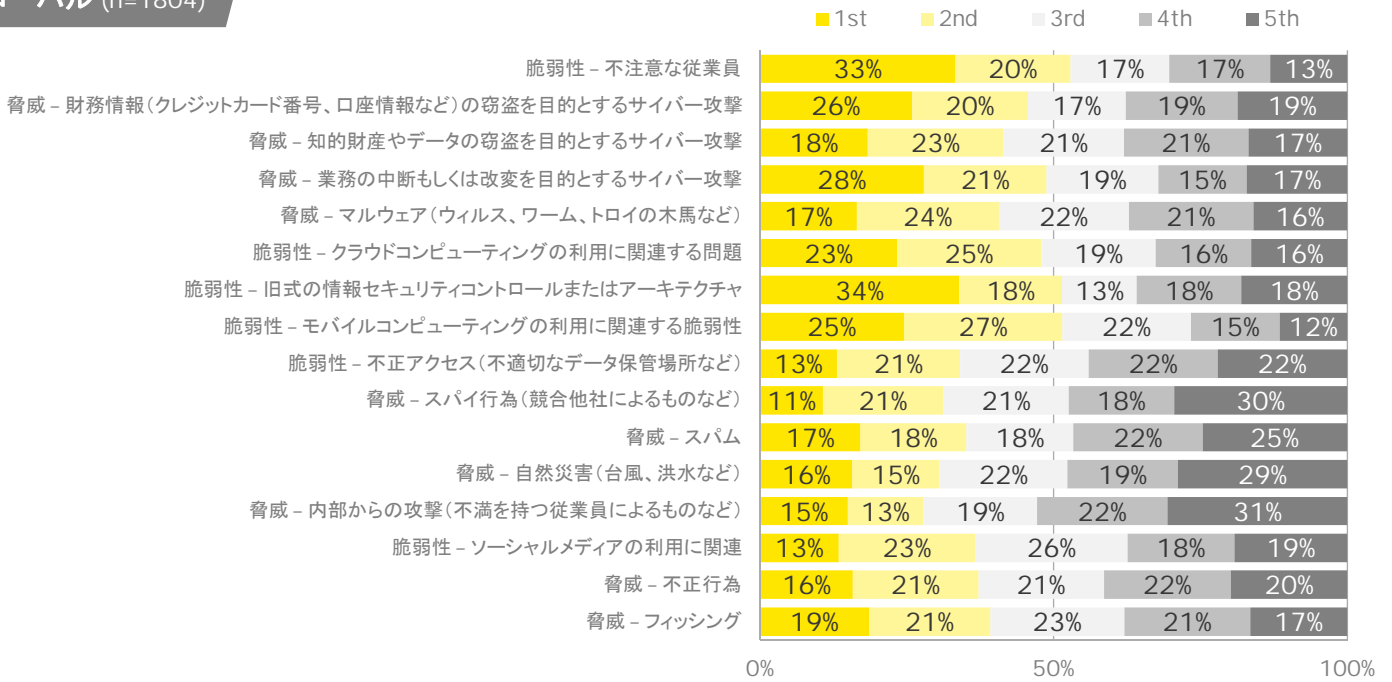
EY's Global Information Security Survey 2013 | 50



4. 情報セキュリティ環境

Q27. 過去12か月間に、貴社のリスクへの影響度を最も増加させた脅威および脆弱性について、下記より5つ選択し、優先度の高いものから順に1、2、3、4、5と番号をご記入ください。

グローバル (n=1804)



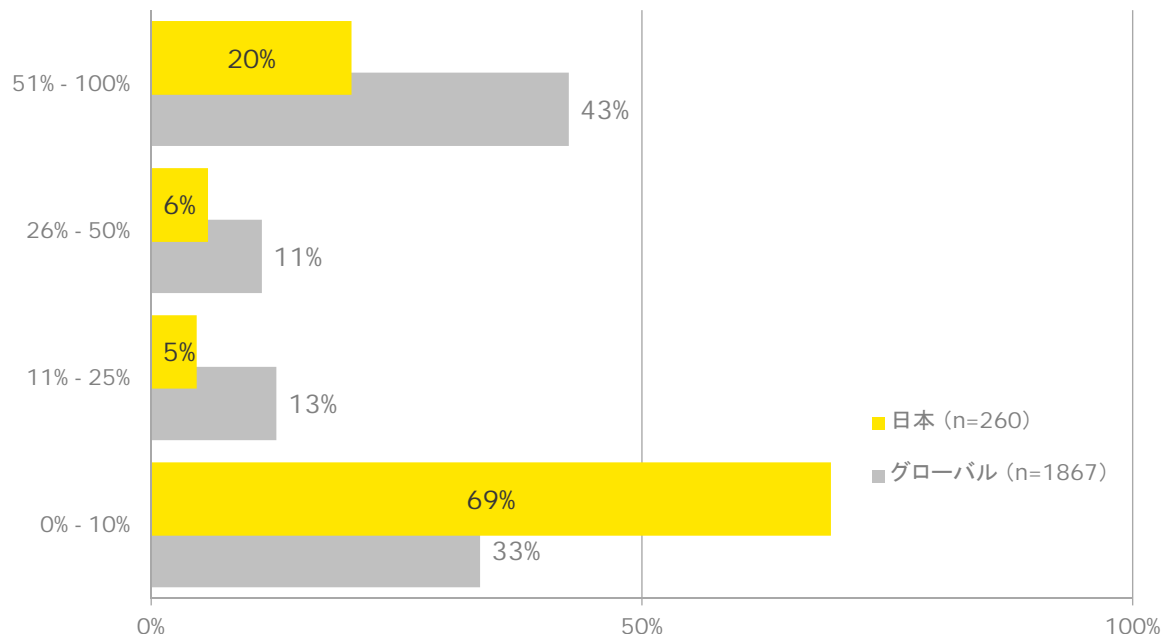
© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

EY's Global Information Security Survey 2013 | 51



4. 情報セキュリティ環境

Q28. 外部インターネットと接続しているシステムの年次テストの実施について、貴社に該当するものを1つ選択してください。



© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

EY's Global Information Security Survey 2013 | 52





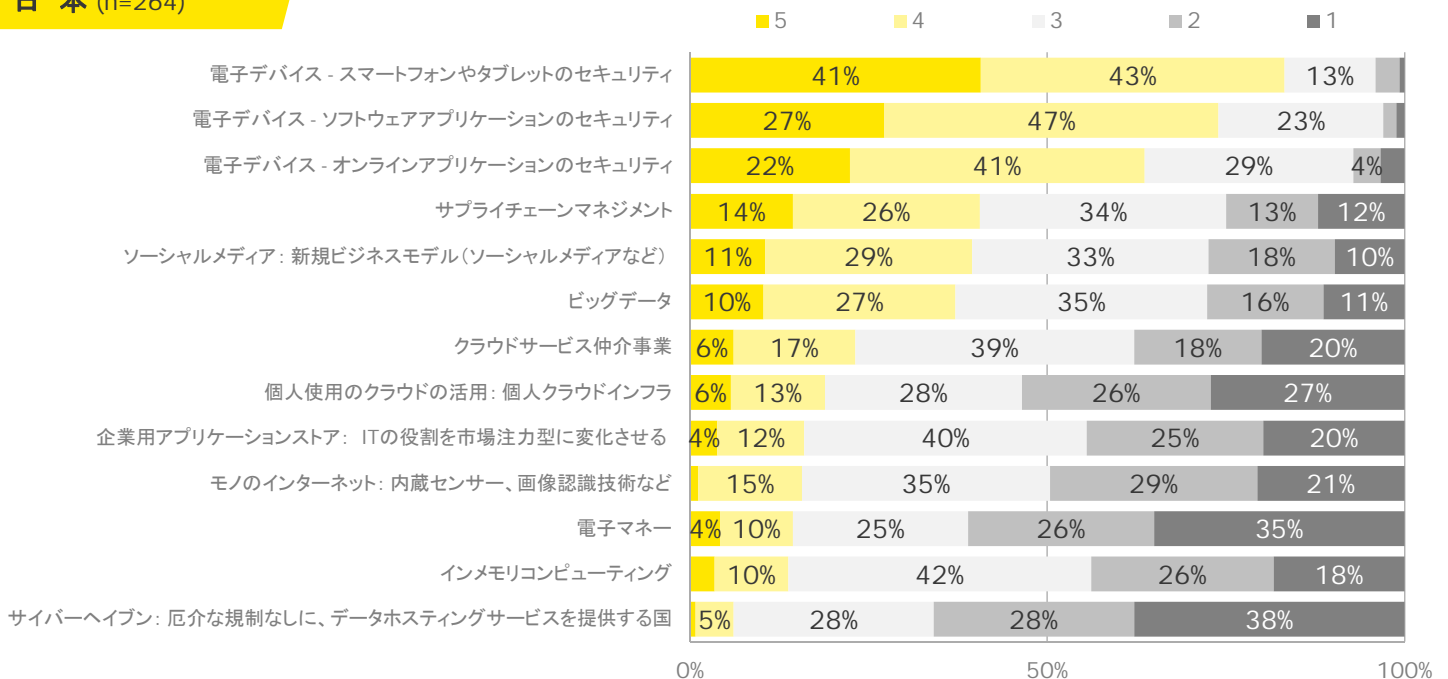
調査結果

5.先端技術とトレンド

5.先端技術とトレンド

Q29. 次の技術またはトレンドについて、貴社にとっての重要度を回答してください(5:重要度高 - 1:重要度低)。

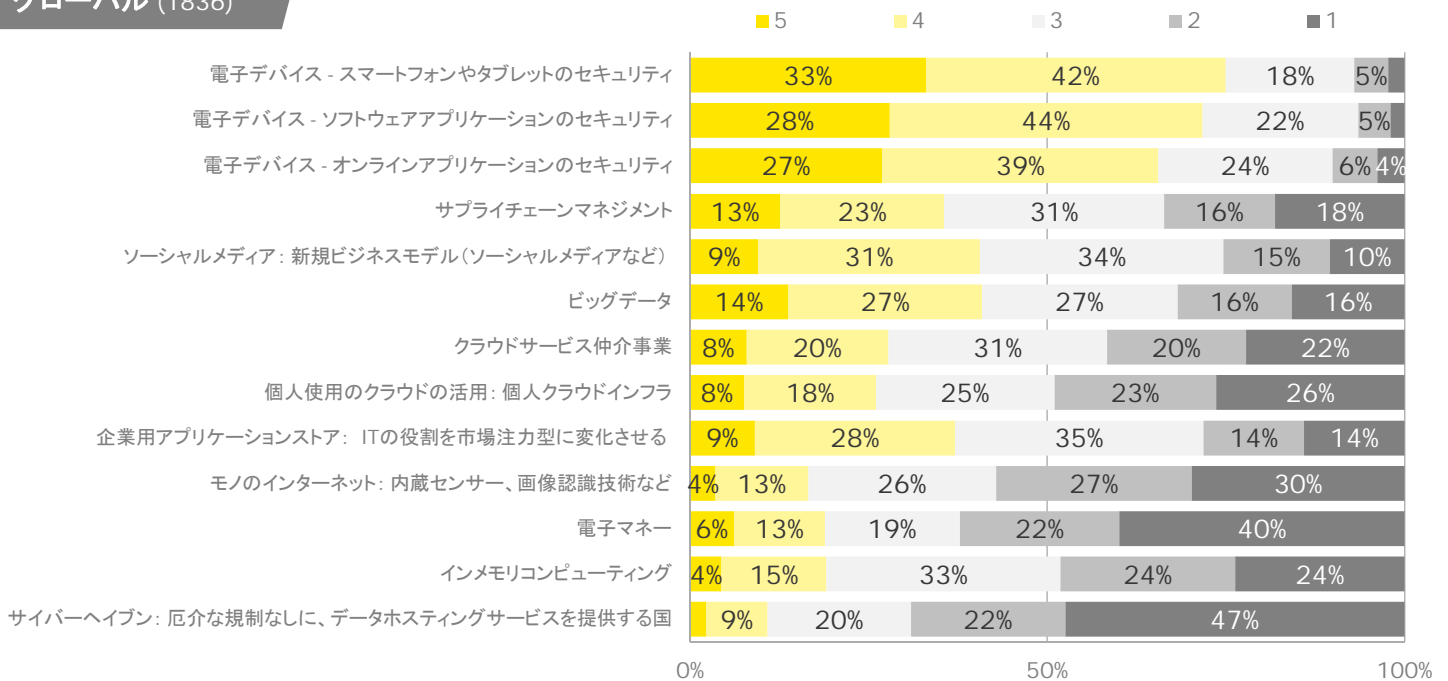
日本 (n=264)



5.先端技術とトレンド

Q29. 次の技術またはトレンドについて、貴社にとっての重要度を回答してください(5:重要度高 - 1:重要度低)。

グローバル (1836)



© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

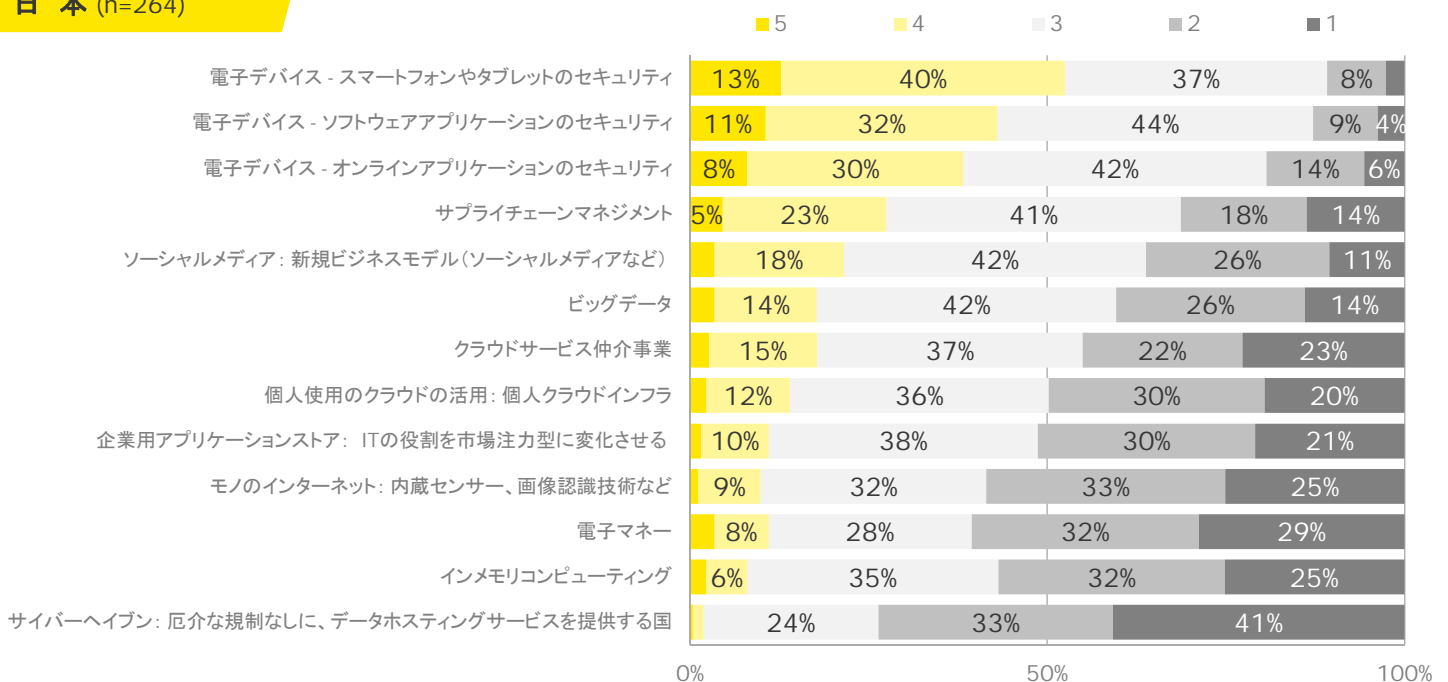
EY's Global Information Security Survey 2013 | 57



5.先端技術とトレンド

Q30. 次の技術またはトレンドが貴社にもたらす影響についての精通度を回答してください(5:精通度高 - 1:精通度低)。

日本 (n=264)



© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

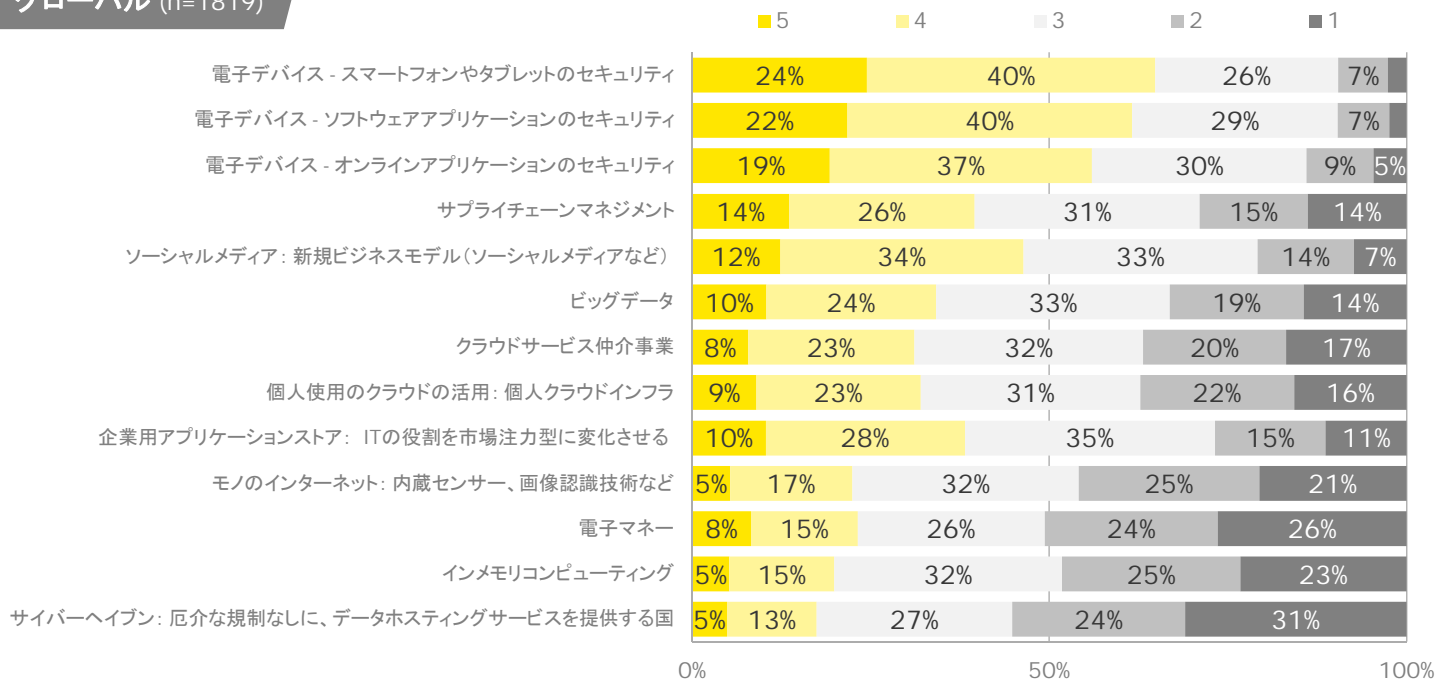
EY's Global Information Security Survey 2013 | 58



5.先端技術とトレンド

Q30. 次の技術またはトレンドが貴社にもたらす影響についての精通度を回答してください(5:精通度高 - 1:精通度低)。

グローバル (n=1819)



© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

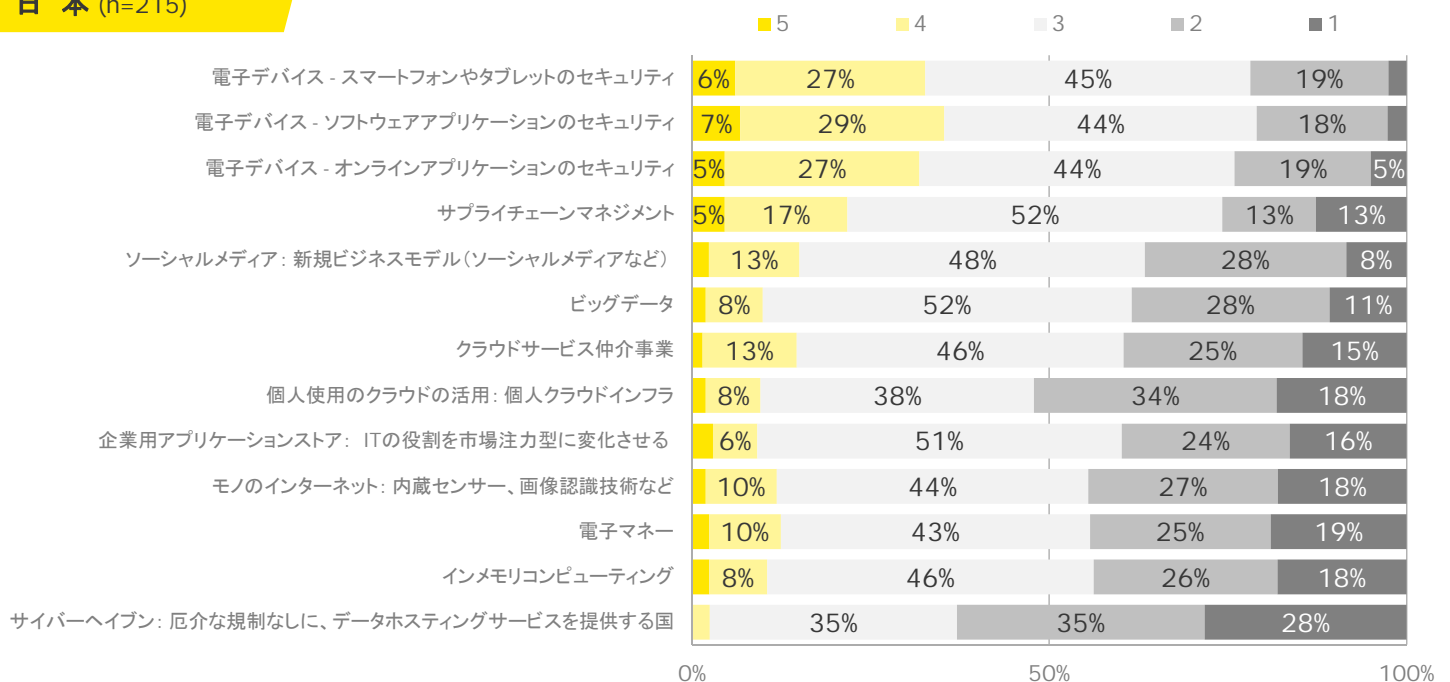
EY's Global Information Security Survey 2013 | 59



5.先端技術とトレンド

Q31. 影響について精通している場合、以下の技術やトレンドがもたらす影響に対する貴社の対処能力に関して、信頼度を回答してください(5:信頼度高 - 1:信頼度低)。

日本 (n=215)



© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

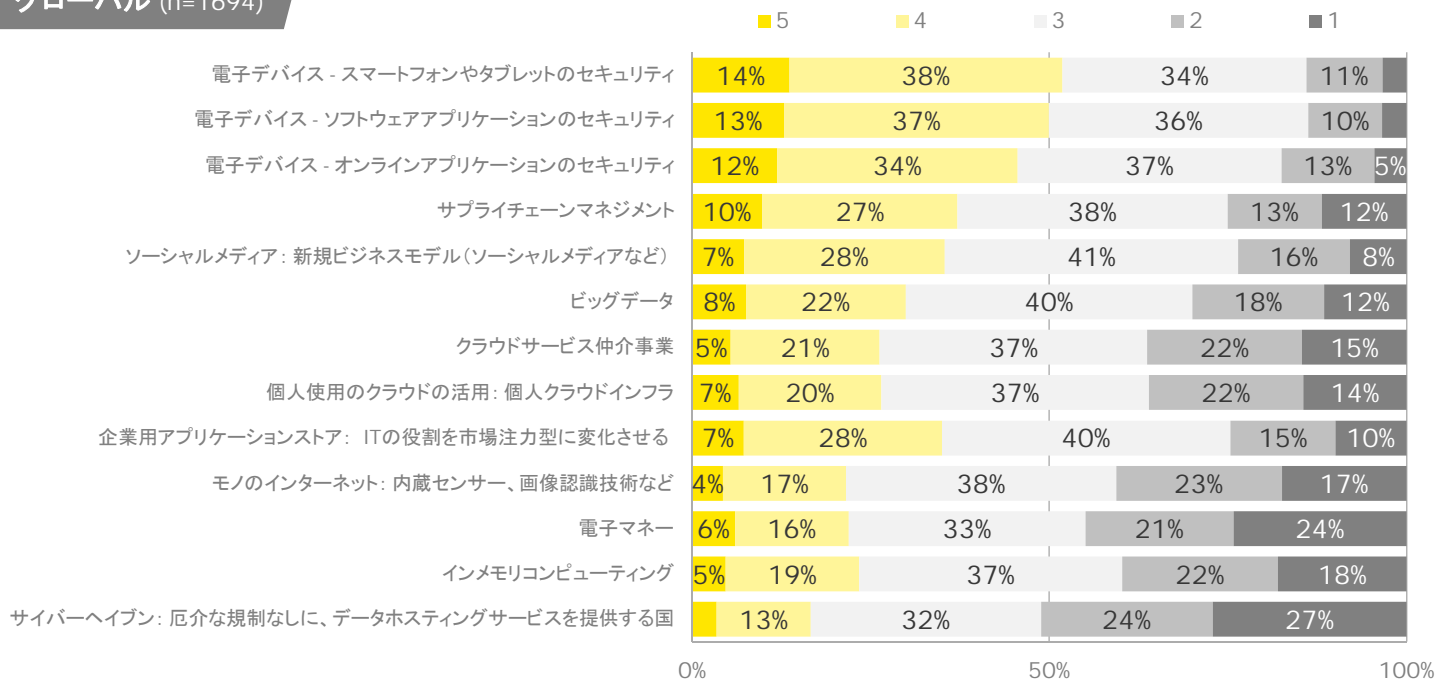
EY's Global Information Security Survey 2013 | 60



5.先端技術とトレンド

Q31. 影響について精通している場合、以下の技術やトレンドがもたらす影響に対する貴社の対処能力に関して、信頼度を回答してください(5:信頼度高 - 1:信頼度低)。

グローバル (n=1694)



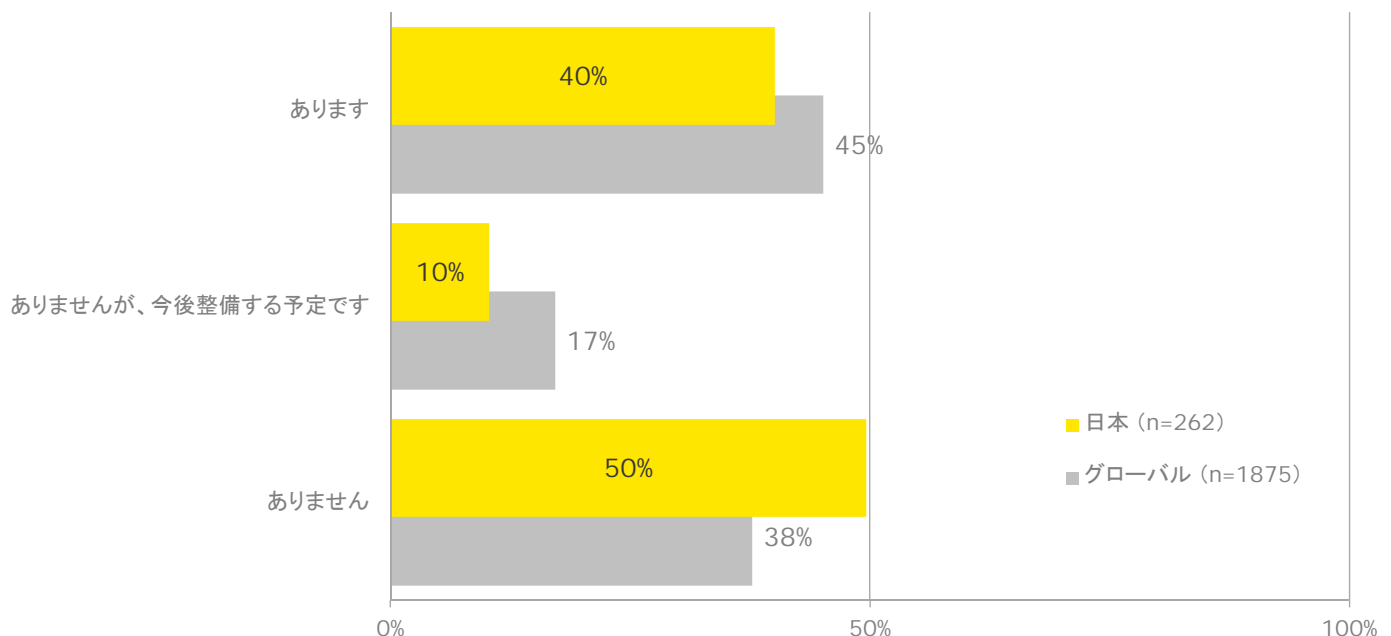
© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

EY's Global Information Security Survey 2013 | 61



5.先端技術とトレンド

Q32. 貴社の情報セキュリティ機能において、先端技術とその情報セキュリティへの影響を専門に扱う担当または部署はありますか？



© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC. All Rights Reserved

EY's Global Information Security Survey 2013 | 62



EYについて

EYは、アシュアランス、税務、トランザクションおよびアドバイザリーなどの分野における世界的なリーダーです。私たちの深い洞察と高品質なサービスは、世界中の資本市場や経済活動に信頼をもたらします。私たちはさまざまなステークホルダーの期待に応えるチームを率いるリーダーを生み出していきます。そうすることで、構成員、クライアント、そして地域社会のために、より良い社会の構築に貢献します。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバル・ネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。詳しくは、ey.com をご覧ください。

新日本有限責任監査法人について

新日本有限責任監査法人は、EYメンバーファームです。全国に拠点を持つ日本最大級の監査法人業界のリーダーです。監査および保証業務をはじめ、各種財務アドバイザリーの分野で高品質なサービスを提供しています。EYグローバル・ネットワークを通じ、日本を取り巻く経済活動の基盤に信頼をもたらし、より良い社会の構築に貢献します。詳しくは、shinnihon.or.jp をご覧ください。

© 2013 Ernst & Young ShinNihon LLC.

All Rights Reserved.

不許複製・禁転載

本書には機密情報が含まれます。また、本書に関する一切の権利は新日本有限責任監査法人に帰属します。当法人の書面による承諾がない限り、第三者への開示を禁じます。

連絡先

新日本有限責任監査法人
ITリスクアドバイザリー部

〒100 - 6028
東京都千代田区霞が関三丁目2番5号
霞ヶ関ビルディング28F

Tel : 03 3503 1704

Email : AS-Markets@shinnihon.or.jp